

基本目標1

活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	高松東工業団地事業
-----	-----------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	1	(1) 企業誘致の推進
主要施策	①	① 企業誘致の推進と流出防止

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	10	商工業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	<p>企業立地による産業振興を目的に香川県が整備した工業団地であり、さぬき市の所有物件についての維持管理を行っている。企業が立地することで産業の振興と雇用の確保を図るための事業である。</p> <p>開発区域面積79.9ha(全体) 分譲面積33.2ha(全体) 分譲区画10区画(さぬき市)</p>	<p>草刈や、5つの調整池の水質検査を実施し、高松東ファクトリーパーク内の維持管理を行っている。さぬき市側の10区画全てに企業が立地することで、産業の振興と雇用の確保を図る。</p>	計画額	0	0	0	4,948	4,948	—	—
			当初予算額	0	0	0	2,551	2,551		
			決算額	0	0	0	1,206	1,206		
H27	<p>企業が継続して、快適に運営できるような工業団地づくりを目指し、地元の管理組合と連携しながら、高松東ファクトリーパーク内の法面や調整池周辺の草刈・伐採を行うとともに、調整池の水質検査を行い、下流の水質保全に努めた。</p>	<p>・高松東ファクトリーパーク内の草刈り及び伐採作業を実施した。・年2回調整池の水質検査を行い、環境保持に努めた。また、平成28年度から草刈の時期・範囲を見直し、効率良く実施することとした。</p>	計画額	0	0	0	1,237	1,237	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	1,237	1,237		
			決算額	0	0	0	1,206	1,206		
H28	<p>地元の管理組合と連携しながら、高松東ファクトリーパーク内の景観を考慮して、法面や調整池周辺の草刈・伐採を行うとともに、調整池の水質検査を行うことで、下流への水質保全に努める。企業が継続して、快適に運営できるような工業団地づくりを実施する。</p>		計画額	0	0	0	1,237	1,237		
			当初予算額	0	0	0	1,314	1,314		
			決算額							
H29	<p>地元の管理組合と連携しながら、高松東ファクトリーパーク内の景観を考慮して、法面や調整池周辺の草刈・伐採を行うとともに、調整池の水質検査を行うことで、下流への水質保全に努める。企業が継続して、快適に運営できるような工業団地づくりを実施する。</p>		計画額	0	0	0	1,237	1,237		
			当初予算額							
			決算額							
H30	<p>地元の管理組合と連携しながら、高松東ファクトリーパーク内の景観を考慮して、法面や調整池周辺の草刈・伐採を行うとともに、調整池の水質検査を行うことで、下流への水質保全に努める。企業が継続して、快適に運営できるような工業団地づくりを実施する。</p>		計画額	0	0	0	1,237	1,237		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	草刈回数	ファクトリーパーク内の美観に配慮し、立地企業の獲得を目指す	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 6	実績値 7	計画値 6	実績値	計画値 6	実績値	計画値 6	実績値
	水質検査回数	立地企業及び調整池の水質検査を実施し、環境に配慮した工業団地を目指す	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 2	実績値 2	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値	計画値 2	実績値
成果指標	区画利用率	さぬき市が分譲する10区画の利用状況	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 100	実績値 100	計画値 100	実績値	計画値 100	実績値	計画値 100	実績値
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	高松東ファクトリーパークにおいては、平成26年度に12号地に関西陸運株式会社が設立し、すべての区画が埋まり、地元の産業振興と雇用の確保に取り組んでおります。また、地元の管理組合の働きにより、パーク内の法面に桜が植樹されるなど、美観にも力をいれております。今後も引き続き、環境保全や水質保全を図り、会社が持続して操業しやすい工業団地づくりを進めていきたいと考えます。						高松東ファクトリーパークについては、平成26年度にすべての区画が埋まり、地元の産業の振興と雇用の順調に進んでいる。しかしながら、区域内の法面及び緑地の管理については、シルバー人材センター及び地元の管理組合に対して、一部分を委託して環境整備を行っているが、その他の区域は、高松東ファクトリーパークが平成13年3月に完成し、15年が経過していることもあり、雑木等が法面等に生え、法面等への影響が懸念される。そのため、県及び地元の管理組合と連携し、区域内の環境保全を進め、事業効果を高めていく必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	企業誘致推進事業
-----	----------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	1	(1) 企業誘致の推進
主要施策	①	① 企業誘致の推進と流出防止

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	10	商工業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 企業立地は、財源及び雇用の確保などの面で重要な役割を担っていることから、新たな企業の誘致や市内企業の規模拡大等のための支援を行う事業である。	地域経済の活性化のため、製造業をはじめ多様な企業を誘致し、雇用の創出および安定的な財源の確保を図る。	計画額	0	0	0	4,819	4,819	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,638	1,638		
			決算額	2,481	0	0	100	2,581		
H27	都市圏でのフェアへの出展(1回:大阪市) 引合い企業との相談回数(10回)	県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへ県と共に出席したほか、県外企業1社と企業誘致に係る契約が成立した。企業立地予定地の水道管引き込み工事に伴う負担金を補正予算で計上した。	計画額	0	0	0	819	819	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	819	819		
			決算額	2,481	0	0	100	2,581		
H28	都市圏でのフェアへの出展(1回:大阪市) 引合い企業との相談回数(10回)		計画額	0	0	0	1,000	1,000		
			当初予算額	0	0	0	819	819		
			決算額							
H29	具体的取組 香川県企業立地推進協議会において、県と連携して誘致活動を行うほか、引合いに応じて、市の制度及び用地情報の提供を行う。また、さぬき市企業立地促進条例が期限を迎えることから、更なる企業立地の推進を図るため、次年度以降の新たな制度を検討する。		計画額	0	0	0	1,000	1,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	企業立地促進条例の見直しによる、新たな支援制度を創設する。更に、新制度の周知に向け、パンフレット及びHPを刷新し、企業、金融機関及び関係団体を訪問するなどの積極的な企業立地に向けた取組を行う。また、引き続き都市圏のフェアへ出展するなどの誘致活動を県と連携して行う。		計画額	0	0	0	2,000	2,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	企業誘致フェアへの出展件数	県外企業の誘致に向けた都市圏でのフェアへの出展件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	企業立地件数	市有地への工場等の新規立地件数 (H26からの延数値 H26現在3件)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	4	計画値	6	計画値	8	計画値	10
					実績値	4	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	20点 /25点	5点		20点 /25点
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	<p>経済成長が伸び悩む中、本市においても新規企業の誘致は厳しい状況にあるが、市内の既存企業における工場増設や移設における助成制度の活用については、丁寧な説明を心掛け、一定の効果を上げていると考えている。</p> <p>また、誘致の取り組み方に関しては、情報発信に基づく引合いに対する対応といった従来からの形に加えて、商工観光課が主体で実施している職業あっせん事業等に関連した個別企業との関わりを活かし、積極的誘致にも取り組んでいける状況が整いつつあり、ワンストップサービス体制を整えて取組を充実させていく必要があると考えている。</p> <p>なお、従来の市有地及び土地開発公社有地に加えて、学校跡地の有効活用といった側面からも幅広く誘致に取り組む必要があり、今後も関係機関で情報共有を徹底し、少しでも立地の可能性がある案件については速やかに対応することにより、新規立地の実現を図っていきたい。</p>						<p>企業の立地は、雇用の創出だけでなく、関連産業の活性化、地域経済の循環などの相乗効果をもたらすことから、これまでの取組を継続しながら、より幅広く、柔軟な誘致活動を展開していく必要がある。</p> <p>また、市内の既存企業における工場増設等に係る助成制度の活用についても、一定の成果が出てきており、今後とも新分野進出などの第二創業、産学金の連携支援なども含め、関係機関と連携を密にしながら情報提供に努めていく必要があると考えている。</p>					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	商工業振興事業①(中小企業振興関係)
-----	--------------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	2	(2) 商工業の振興と産学官の連携強化
主要施策	①	① 中小企業の振興

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	10	商工業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	商工業の振興・地域社会の発展と活性化のための事業支援を行う。 また、新規事業者、誘致に伴う企業立地助成を行う。	既存の商工業事業者に対する事業支援や新規事業者、市外からの企業誘致を行うことで、さぬき市内の商工業の振興や地域社会の発展と活性化を目指す。	計画額	0	0	563,460	70,680	634,140	—	—
			当初予算額	0	0	442,077	34,766	476,843		
			決算額	121,304	0	239,351	23,006	383,661		
H27	商工会の育成と事業支援を目的とした各種助成、商工関係各種団体の事業支援を目的とした助成、工場誘致及び企業立地促進を図るための奨励金、中小企業支援策として金融機関に預託し低金利による融資業務を行う。なお、平成27年度は、さぬき市企業立地促進条例に基づく助成金対象指定を4件行った。	新たに設備投資を検討している企業に対し、当市の助成制度の案内だけでなく、香川県の助成制度やさぬき市地域就職サポートセンター等の利用案内を併せて行うなど、様々な事業支援の提案を行った。	計画額	0	0	266,958	17,670	284,628	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	266,958	17,670	284,628		
			決算額	121,304	0	239,351	23,006	383,661		
H28	商工会の育成と事業支援を目的とした各種助成、商工関係各種団体の事業支援を目的とした助成、工場誘致及び企業立地促進を図るための奨励金、中小企業支援策として金融機関に預託し低金利による融資業務を行う。		計画額	0	0	152,248	17,670	169,918		
			当初予算額	0	0	175,119	17,096	192,215		
			決算額							
H29	商工会の育成と事業支援を目的とした各種助成、商工関係各種団体の事業支援を目的とした助成、工場誘致及び企業立地促進を図るための奨励金、中小企業支援策として金融機関に預託し低金利による融資業務を行う。		計画額	0	0	72,127	17,670	89,797		
			当初予算額							
			決算額							
H30	商工会の育成と事業支援を目的とした各種助成、商工関係各種団体の事業支援を目的とした助成、工場誘致及び企業立地促進を図るための奨励金、中小企業支援策として金融機関に預託し低金利による融資業務を行う。		計画額	0	0	72,127	17,670	89,797		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	相談・協議件数	企業立地促進助成金に係る相談・協議件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	20	
					実績値	17	実績値		実績値		実績値		
成果指標	さぬき市企業立地促進条例に基づく助成金対象企業数	新たにさぬき市企業立地促進条例に基づく助成金対象指定を行った企業数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	社	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
					実績値	4	実績値		実績値		実績値		
成果指標	市内事業所数(製造業)	工業統計調査を基に、これまでの調査結果から推計なお、平成27年度は、工業統計調査が実施されていないため、平成26年度調査結果を記載	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	事業所	計画値	140	計画値	140	計画値	138	計画値	138	
					実績値	132	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	5点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		2点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>企業誘致と地域企業の規模拡大等の支援による雇用の場の創出については、第2次総合計画において重要な位置づけを占めています。平成25年4月にさぬき市企業立地促進条例の改正を行って以降、高松東ファクトリーパーク、鶯部工業団地において、市外から新たな企業の誘致を行い、市内の商工業振興、市内在住者の雇用の確保の一助となっていると思いますが、条例改正後の期間においても経済情勢は絶えず変化している状況であり、平成29年度末に期限を迎える同条例においては、制度の拡充、縮小を含め、どのような形の助成制度とするのか検討を進めます。</p>						<p>企業誘致、市内在住者の雇用の場の創出といった点については、さぬき市企業立地促進条例の拡充により一定程度の効果は表れていると思われるが、市内経済の活性化ということとなると、取組は、まだまだ十分でない状況である。企業立地についても、市外から企業を誘致するのに十分な工業団地が不足していることから、廃校になった学校用地の利用の検討を進める必要があり、活動指標の状況を鑑みると、助成制度の告知も十分ではないという印象を受ける。今後は、条例改正の内容の協議と並行して、企業立地の担当部署である政策課とも連携し、このような課題についても対処する必要がある。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	商工業経営支援事業
-----	-----------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	2	(2) 商工業の振興と産学官の連携強化
主要施策	①	① 中小企業の振興

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	10	商工業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要	小規模事業者の新分野進出や新商品開発に係る設備投資などを支援するため、小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の貸付を受けた小規模事業者に対し、支払利子の一部を補給する。商工事業者等の経営活動等を支援するため、(公財)かがわ産業支援財団所属の専門家による中小企業者向けの相談会を開催する。	計画額	0	0	6,880	0	6,880	—	—
			当初予算額	0	0	1,717	0	1,717		
			決算額	631	0	0	0	631		
H27	具体的取組	・マル経融資を受けた小規模事業者に対し、支払利子の一部を補給 継続6件、新規19件 ・中小企業者向けの定期相談会を年6回開催、臨時相談会を2回開催 相談件数17件	計画額	0	0	1,717	0	1,717	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	1,717	0	1,717		
			決算額	631	0	0	0	631		
H28	具体的取組	・マル経融資を受けた小規模事業者に対し、支払利子の一部を補給 ・中小企業者向けの定期相談会を年6回開催、専門家派遣を随時実施	計画額	0	0	1,717	0	1,717		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H29	具体的取組	・マル経融資を受けた小規模事業者に対し、支払利子の一部を補給 ・中小企業者向けの定期相談会を年6回開催、専門家派遣を随時実施	計画額	0	0	1,723	0	1,723		
			当初予算額							
			決算額							
H30	具体的取組	・マル経融資を受けた小規模事業者に対し、支払利子の一部を補給 ・中小企業者向けの定期相談会を年6回開催、専門家派遣を随時実施	計画額	0	0	1,723	0	1,723		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	小規模事業者経営改善資金利子補給事業を市内事業所に周知・PRするための広報活動の回数	市及び商工会による制度周知のための情報発信の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 5	実績値 5	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	
	中小企業等経営支援相談事業を市内事業所等に周知・PRするための広報活動の回数	市及び商工会による事業周知のための情報発信の回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 5	実績値 5	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	計画値 5	実績値	
成果指標	さぬき市小規模事業者経営改善資金利子補給の新規取扱件数	さぬき市小規模事業者経営改善資金利子補給の新規の交付申請件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 10	実績値 19	計画値 10	実績値	計画値 10	実績値	計画値 10	実績値	
	中小企業等経営支援相談事業相談支援件数	中小企業等経営支援相談事業における相談支援件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 12	実績値 17	計画値 15	実績値	計画値 15	実績値	計画値 15	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	24点 /25点	5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点	4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	中小企業・小規模事業者は地域経済や雇用において重要な役割を担っていますが、それらを取り巻く状況は需要の減少や競争の激化などにより一層厳しいものとなっております。本市においても例外ではなく、設備投資はもとより運転資金の確保にも苦慮している事業所も珍しくありません。このような状況に歯止めをかけることを目的に商工会との連携の下に設備投資資金などマル経融資を受けた事業所に対してその利子の一部を市が助成することとしたところ、想定を大幅に上回る多くの申請があり、ニーズの高さを改めて認識したところ。さらに、平成28年度において、対象借入限度額を500万円から1,000万円に引き上げたことから一層ニーズが高まるものと思われ。また、これらの事業所の経営等における諸課題を解決に導くために実施している中小企業等経営相談事業についても、平成28年度からはこれまでの定期相談会に加えて、中小企業診断士などを事業所に派遣する「専門家派遣」を採り入れるなど事業を拡充したところであり、当面は現状を見守りたいと考えています。						マル経融資を受けた事業者への支払利子の助成制度については、平成27年度は新規申請件数が前年度の約3倍となるなど、高いニーズが見られ、一定の事業効果があったものと思われるが、裏を返せばそれだけ中小企業・小規模事業者を取り巻く状況は厳しさを増していることを再認識したところである。中小企業等経営相談事業についても、相談件数が大幅に増加していることから、同様の事が言えるのではないかと思う。今後も、中小企業・小規模事業者のニーズを的確に把握し、場合によってはそれに沿った見直しを随時行いたい。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	商工業等活性化支援事業
-----	-------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	2	(2) 商工業の振興と産学官の連携強化
主要施策	②	②産学官連携の推進による地域企業の支援

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	10	商工業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地域の豊富な農林水産物や優れた地場産業技術などの資源を活用した地域特産品となる新商品の開発やその新商品を含む地域特産品の販路開拓に係る取組みを支援する。また、平成28年度からは国内最大級の食品見本市にさぬき市ブースを出展する。	地域資源を活用した新商品開発や販路開拓を支援することにより、市内中小企業者等の振興及び地域の活性化を図る。国内最大級の食品見本市に出展することにより、本市食品の魅力を全国に発信する。	計画額	0	0	0	13,520	13,520	—	—
			当初予算額	0	0	0	3,380	3,380		
			決算額	1,700	0	0	7	1,707		
H27	・地域資源活用新商品開発等支援事業を実施 実施企業3社「さぬき市産のジャージー牛乳を使った手作りソフトクリームコーンの開発」「さぬき市特産の桑の葉を使ったスイーツの開発」「さぬき市のミニトマトを使った土産物づくり」	・平成28年度より新商品の開発に加えて、地域資源を活用した商品の販売力を強化し、販路開拓を図るための事業を追加した。・本市食品の魅力を全国に発信するため、国内最大級の食品見本市に出展した。	計画額	0	0	0	3,380	3,380	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,380	3,380		
			決算額	1,700	0	0	7	1,707		
H28	・地域資源活用新商品開発等支援事業の実施 新商品開発支援事業2～3社程度 販売力強化・販路開拓支援事業2社程度 ・国内最大級の食品見本市「スーパーマーケット・トレードショー」にさぬき市ブース(4社)を出展。	※平成28年度については、平成27年度補正予算計上分を全額繰越したことから当初予算額を「0」としている。	計画額	0	0	0	3,380	3,380		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H29	・地域資源活用新商品開発等支援事業の実施 新商品開発支援事業2～3社程度 販売力強化・販路開拓支援事業2社程度 ・国内最大級の食品見本市「スーパーマーケット・トレードショー」にさぬき市ブース(4社)を出展。		計画額	0	0	0	3,380	3,380		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・地域資源活用新商品開発等支援事業の実施 新商品開発支援事業2～3社程度 販売力強化・販路開拓支援事業2社程度 ・国内最大級の食品見本市「スーパーマーケット・トレードショー」にさぬき市ブース(4社)を出展。		計画額	0	0	0	3,380	3,380		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	地域資源活用新商品開発等支援事業の案件発掘のための企業等訪問件数	市及び商工会が地域資源活用新商品開発等支援事業の周知及び案件発掘のために企業等を訪問した件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10
					実績値	11	実績値		実績値		実績値	
成果指標	地域資源活用新商品開発等支援事業による開発商品数	地域資源活用新商品開発支援事業による開発商品数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	種類	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3
					実績値	5	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点	/25点	5点		23点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点			5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点			4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点			4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	<p>本事業は、地域の豊富な農林水産物や優れた地場産業技術などの資源を活用した地域特産品となる新商品の開発や新商品を含む地域特産品の販路開拓に係る取組みを支援するものであり、市内中小企業者等の振興及び地域の活性化に大きく寄与するとともに、さらに、本事業で開発した商品を県内外に広くPRすることにより本市の知名度向上にも貢献するものであります。初年度である平成27年度において事業を実施したある事業者においては、開発した商品の広告宣伝を行ったところ、当初想定の2倍程度の販売となり現在もその勢いを維持しているとのことであり、また、他の事業者においても、商品化に成功していることから、本事業は順調な滑り出しだったのではないかと感じております。平成28年度については、新商品の開発に加え、販売力を強化し販路開拓を図るための事業の追加や国内最大級の食品見本市への出展などの拡充を行うことから、当面は現状を見守りたいと考えております。</p>				<p>平成27年度に創設された地域資源活用新商品開発等支援事業により、3事業者が新商品の開発に取組んだところ、すべての事業者において商品化に成功しており、中には想定以上の販売を記録したり、早くも市外で販売を行っている事業者もいるとの報告を受けている。このような商品をさぬき市の「地域特産品」として育てていくためにも、継続した支援として市観光協会など関係機関と連携した情報発信等に取組みたい。今後も、商工会や地域金融機関と連携して、本事業に取組む事業者や開発案件の発掘に努めるとともに、「地域特産品」の開発を通じた地域の活性化や市の知名度向上を推進したい。</p>							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	共通商品券発行事業特別会計
-----	---------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	2	(2) 商工業の振興と産学官の連携強化
主要施策	③	③魅力ある商業の振興

会計	70	共通商品券発行事業特別会計
款		
項		
目		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	さぬき市共通商品券を発行することで、市内の消費拡大及び市外への購買力流出の歯止めとなり、市内商業の活性化を図る。	さぬき市内における消費拡大を促すとともに商工業の振興及び活性化に寄与することを目的とする。	計画額	0	0	400,000	13,600	413,600	—	—
			当初予算額	0	0	200,000	8,122	208,122		
			決算額	0	0	631,514	123,338	754,852		
H27	さぬき市共通商品券を発行することで、市内の消費拡大及び市外への購買力流出の歯止めとなり、市内商業の活性化を図った。	プレミアム付き商品券を発行したことにより市内の消費拡大に寄与したほか商品券取扱指定店が増加した(H26年度末402店舗→H27年度末477店舗)ため、より商品券が利用しやすい環境となった。	計画額	0	0	100,000	3,400	103,400	0.6	0.8
			当初予算額	0	0	100,000	3,400	103,400		
			決算額	0	0	631,514	123,338	754,852		
H28	さぬき市共通商品券を発行することで、市内の消費拡大及び市外への購買力流出の歯止めとなり、市内商業の活性化を図る。		計画額	0	0	100,000	3,400	103,400		
			当初予算額	0	0	100,000	4,722	104,722		
			決算額							
H29	さぬき市共通商品券を発行することで、市内の消費拡大及び市外への購買力流出の歯止めとなり、市内商業の活性化を図る。		計画額	0	0	100,000	3,400	103,400		
			当初予算額							
			決算額							
H30	さぬき市共通商品券を発行することで、市内の消費拡大及び市外への購買力流出の歯止めとなり、市内商業の活性化を図る。		計画額	0	0	100,000	3,400	103,400		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	商品券の発行枚数	商品券を発行することで市内の商業の活性化を図れるので、発行した枚数を指標とする。(500円券)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	枚	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000	計画値	10,000
					実績値	32,498	実績値		実績値		実績値	
成果指標	商品券の発行枚数	商品券を発行することで市内の商業の活性化を図れるので、発行した枚数を指標とする。(1000円券)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	枚	計画値	645,000	計画値	95,000	計画値	95,000	計画値	95,000
					実績値	617,906	実績値		実績値		実績値	
成果指標	商品券の換金申請額	商品券を利用することで市内の商業の活性化を図れるので、換金額を指標とする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	760,000	計画値	100,000	計画値	100,000	計画値	100,000
					実績値	741,304	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		4点	18点 /25点	4点	16点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		3点		2点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	さぬき市共通商品券は、さぬき市商工会で個人が購入するもののほか、さぬき市リフォーム支援事業や省エネ住宅エコポイント等、公共機関からも幅広く利用されています。平成18年度より開始した本事業は10億円以上の売り上げがあり、換金率は96%以上ですので、市内の消費拡大及び市外への購買力流出の歯止めに寄与していると考えられます。今後も商工会等と協議しつつ、市内消費の底上げに寄与できるものと思いたいと考えます。						平成18年度より開始した本事業は、すでに市内商工業に寄与しており、現在も多数の商品券が市内に流通している。商品券へのニーズはあるが、事業にかかるコストや事業効果の検証も必要となる。商工会と協議しながらより商工業の活性化に寄与できるものと思いたい。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	香川用水事業
-----	--------

担当課	土地改良課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	①	① 農業生産基盤の充実

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	35	香川用水費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要	香川用水施設の維持管理及び配水管理の実施。 止水栓の開閉による計画的な配水と老朽化した施設修繕の実施。	計画額	0	0	3,964	94,488	98,452	—	—
			当初予算額	0	0	1,979	47,214	49,193		
			決算額	0	0	970	24,835	25,805		
H27	具体的取組	香川用水事業については、県全体受益面積2.3万ha、水路延長106km、農業用水98,000千㎡、農業用分水工179箇所の内、さぬき市の管理として鴨部川沿岸支線、津田川沿岸支線の各分水工24箇所、併せて7,400千㎡の農業用水を既設のため池、水路等に配水している。	計画額	0	0	991	23,622	24,613	0.7	0.0
			当初予算額	0	0	991	23,622	24,613		
			決算額	0	0	970	24,835	25,805		
H28	具体的取組	香川用水事業については、県全体受益面積2.3万ha、水路延長106km、農業用水98,000千㎡、農業用分水工179箇所の内、さぬき市の管理として鴨部川沿岸支線、津田川沿岸支線の各分水工24箇所、併せて7,400千㎡の農業用水を既設のため池、水路等に配水している。	計画額	0	0	991	23,622	24,613		
			当初予算額	0	0	988	23,592	24,580		
			決算額							
H29	具体的取組	香川用水事業については、県全体受益面積2.3万ha、水路延長106km、農業用水98,000千㎡、農業用分水工179箇所の内、さぬき市の管理として鴨部川沿岸支線、津田川沿岸支線の各分水工24箇所、併せて7,400千㎡の農業用水を既設のため池、水路等に配水している。	計画額	0	0	991	23,622	24,613		
			当初予算額							
			決算額							
H30	具体的取組	香川用水事業については、県全体受益面積2.3万ha、水路延長106km、農業用水98,000千㎡、農業用分水工179箇所の内、さぬき市の管理として鴨部川沿岸支線、津田川沿岸支線の各分水工24箇所、併せて7,400千㎡の農業用水を既設のため池、水路等に配水している。	計画額	0	0	991	23,622	24,613		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	管路の管理	津田川沿岸支線6,221m 鴨部川沿岸支線11,964m 分水管路の管理	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m	計画値	18,185	計画値	18,185	計画値	18,185	計画値	18,185
					実績値	18,185	実績値		実績値		実績値	
活動指標	管路の修繕	管路・空気弁・仕切弁等の修繕	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10
					実績値	6	実績値		実績値		実績値	
成果指標	円滑な配水	施設の機能保持による適正な配水管理事業	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値	100	計画値	100	計画値	100
					実績値	100	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	18点 /25点	3点	19点 /25点	5点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点				5点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点				3点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点				3点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点				3点		
今後の方向性	一次評価(担当者)				二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止				○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	香川用水事業は農業用水として市内の主要なため池・水路に配水しており、さぬき市農業の根幹をなす事業である。計画的な配水を行うことが前提だが、昨今の農業の多様化に対応し地元のニーズにあうよう、配水量を調整しながら配水も行う必要がある。 また、香川用水の施設・管路設置から40年近くが経ち、老朽化が著しいため計画的な修繕・更新を行いながら、突発的な配水に支障をきたす故障箇所について修繕を行っていく必要がある。				香川用水事業により県内の水事情は大幅に改善され、安定的な配水は農業生産基盤を確保し、農業の生産性の向上に貢献していることから、計画的な修繕・更新を行う必要がある。 また、受益者に対して、香川用水以外の自主水源確保も合わせて、用水の節水に努めてもらうこと、将来的には受益者負担について検討が必要と考えられる。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	土地改良維持管理事業
-----	------------

担当課	土地改良課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	①	① 農業生産基盤の充実

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	40	土地改良費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 農業用排水機場ならびに農道等の管理のほか、農道、ため池、農業用排水路、ほ場整備など農業生産基盤の整備や農村生活環境整備を実施するとともに、農業用施設を地域ぐるみで管理する多面的機能支払交付金制度を推進する。さらに、防災の観点から県営農村地域防災減災事業を実施する。	土地改良法に基づき、農業の生産性向上や農業構造の改善を目的に事業を実施する。	計画額	340,440	366,300	63,355	185,963	956,058	—	—
			当初予算額	166,109	198,700	51,884	118,128	534,821		
			決算額	64,600	71,200	15,876	41,228	192,904		
H27	〇県単独補助土地改良事業(ため池2箇所、水路2箇所) 〇多面的機能支払交付金 〇県営中山間地域総合整備事業 〇県営農村地域防災減災事業(弥勒池) 〇小規模ため池防災対策特別事業(2箇所)	農業用施設の老朽化に伴う補修、更新を土地改良事業により、実施するとともに、地域での保全管理を推進した。	計画額	89,760	100,500	22,286	48,978	261,524	5.4	0.0
			当初予算額	89,760	100,500	22,286	48,978	261,524		
			決算額	64,600	71,200	15,876	41,228	192,904		
H28	〇県単独補助土地改良事業(ため池2箇所、水路7箇所) 〇多面的機能支払交付金 〇小規模ため池防災対策特別事業(4箇所) 〇県営中山間地域総合整備事業 〇県営農村地域防災減災事業		計画額	83,560	102,900	14,938	46,420	247,818		
			当初予算額	76,349	98,200	29,598	69,150	273,297		
			決算額							
H29	〇県単独補助土地改良事業(ため池6箇所、水路4箇所) 〇多面的機能支払交付金 〇小規模ため池防災対策特別事業(5箇所) 〇県営中山間地域総合整備事業		計画額	83,560	101,900	14,849	46,364	246,673		
			当初予算額							
			決算額							
H30	〇県単独補助土地改良事業(ため池6箇所、水路4箇所) 〇多面的機能支払交付金 〇小規模ため池防災対策特別事業(5箇所)		計画額	83,560	61,000	11,282	44,201	200,043		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	県費補助と市費補助の土地改良事業実施件数	・香川県の農業生産基盤整備における補助事業＝事業費100万円以上で受益戸数2戸以上 ・市の農業生産基盤整備における補助事業＝事業費10万円以上100万円未満で受益戸数2戸以上	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 30	実績値 26	計画値 29	実績値	計画値 30	実績値	計画値 30	実績値	
	多面的機能支払制度実施活動組織数	農村環境の保全を図るために多面的機能支払制度を活用し、共同で農地や農業用施設の維持管理を行った組織数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	組織	計画値 34	実績値 34	計画値 36	実績値	計画値 40	実績値	計画値 43	実績値	
成果指標	農業生産基盤整備面積	土地改良事業実施による受益地面積	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 425	実績値 414	計画値 430	実績値	計画値 430	実績値	計画値 430	実績値	
	多面的機能支払制度協定面積	農村環境の保全を図るために地域の活動組織が共同で農地や農業用施設の維持管理を行った面積	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 650	実績値 629	計画値 680	実績値	計画値 720	実績値	計画値 750	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点	4点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>これからの土地改良事業において重要なことは、これまでに建設された農業水利施設の老朽化が進行しているため、この補修あるいは更新を計画的に行っていく中、農業生産力の維持に加え地域防災力強化の観点からも、所有者と管理者等が連携を図りつつ、効果的な長寿命化対策の実施や円滑な更新を進めていくことです。</p> <p>また、近年の農村地域の過疎化、高齢化、農業構造の変化(大規模経営体と土地持ち非農家等への二極化)に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動により支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。さらには共同活動の困難化により、農用地や水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されています。このような状況の中、多面的機能支払交付金事業を活用し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。</p>						<p>生産性の高い農業を推進していくためには、農業用施設の整備・改修など生産基盤の強化が必要である。</p> <p>また、ため池については、農業用のみならず地域防災の観点からも重点的な整備が求められている。</p> <p>このようなことから、単県土地改良事業や県営土地改良事業の実施及び多面的機能支払交付金事業等の活用により農業用施設の整備を推進する。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	農業基盤整備促進事業
-----	------------

担当課	土地改良課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	①	① 農業生産基盤の充実

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	40	土地改良費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)			
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要	不整形な圃地や未整備な農道、また排水路等も老朽化が進んでいることから、将来、営農計画や農地の流動化に多大な影響を及ぼすため、ほ場整備、パイプラインの整備を実施し、農業経営の安定化と維持管理の節減を図るとともに、農業経営の担い手を確保することを目的とする。	当地域における農業経営の安定化と維持管理の節減を図るとともに、農業経営の担い手を確保することを目的とする。	計画額	90,000	17,800	12,118	1,268	121,186	—	—
				当初予算額	75,750	15,200	10,217	1,009	102,176		
				決算額	22,326	8,000	0	422	30,748		
H27	具体的取組	○初音・川東地区(実施年度:平成27~29年度) ○区画整理A=1.9ha ○パイプラインL=800m(幹線) ○ポンプ場1箇所 ○換地設計	換地計画を策定し、区画整理(面整備)を完了した。また、ポンプ施設を設置しパイプライン(幹線)工事を実施した。翌年度以降においても早期工事の着手を行い、早期効果の発現を図る。	計画額	52,500	10,800	7,112	708	71,120	1.1	0.0
				当初予算額	52,500	10,800	7,112	708	71,120		
				決算額	22,326	8,000	0	422	30,748		
H28	具体的取組	○初音・川東地区(実施年度:平成27~29年度) ○区画整理 A=1.9ha ○パイプライン L=800m(幹線) ○ポンプ場1箇所 ○換地設計		計画額	35,250	6,600	4,705	499	47,054		
				当初予算額	23,250	4,400	3,105	301	31,056		
				決算額							
H29	具体的取組	○初音・川東地区(実施年度:平成27~29年度) ○換地処分登記等 ※事業終了予定		計画額	2,250	400	301	61	3,012		
				当初予算額							
				決算額							
H30	具体的取組	※29年度で事業終了予定		計画額	0	0	0	0	0		
				当初予算額							
				決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	パイプライン整備延長	整備を計画している農業用施設の延長	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m	計画値 800	実績値 360	計画値 800	実績値	計画値 900	実績値	計画値 -	実績値	
	区画整理整備面積	整備を計画している区画整理の面積	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 2	実績値 2	計画値 -	実績値	計画値 -	実績値	計画値 -	実績値	
成果指標	パイプライン整備進捗率	整備を計画している農業用施設の整備率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 32	実績値 14	計画値 64	実績値	計画値 100	実績値	計画値 -	実績値	
	区画整理整備進捗率	整備を計画している区画整理の整備率	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値 100	実績値 100	計画値 -	実績値	計画値 -	実績値	計画値 -	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	23点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	農業従事者の減少や高齢化、農業所得の減少等の厳しい状況の中、食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって発揮されるために、担い手への農地集積の加速や農業の高付加価値化の推進等により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境の整備や、農業生産効率の向上に成果が期待できるため、現状のまま継続する。						農業の競争力を強化するためには、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備により、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を図ることが重要であることから、当事業を活用して農地の区画拡大や農業水利施設等の整備を地域の実情に応じて実施していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	農業委員会事業
-----	---------

担当課	農業委員会事務局
-----	----------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	②	②多様な担い手の育成・確保

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	05	農業委員会費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	農業委員会は、市町村に設置される行政機関であり、農業及び農業者の利益を代表する機関であり、農業者の地位向上並びに農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図ることを目的とし事業を展開する。市内の土地利用等について無秩序な開発等を防止し、農業経営の安定を今後とも図る。	農業現場での担い手不足、鳥獣害被害等による耕作放棄地の増加など厳しい状況であるが、農業者の利益代表機関として農業環境等の改善に向けた取り組み・推進を図り、農業経営の安定化を図る。	計画額	0	0	0	14,035	14,035	—	—
			当初予算額	0	0	0	8,552	8,552		
			決算額	0	0	0	3,488	3,488		
H27	農業委員会における各種事務事業において、交付金事業に属さない事項について計上している。農家台帳・農地管理システムの維持管理や県農業会議等への負担金等の費用を計上している。	農家台帳システムに関する機器のリース代及び農家データの保守業務に係る委託料の支出を行った。また、県農業会議等への負担金等の支出を行った。	計画額	0	0	0	3,535	3,535	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	3,535	3,535		
			決算額	0	0	0	3,488	3,488		
H28	農業委員会における各種事務事業において、交付金事業に属さない事項について計上している。農家台帳・農地管理システムの維持管理や県農業会議等への負担金等の費用を計上している。農業委員会法改正により、農業委員会改革を行っている先進地への視察研修費を計上している。		計画額	0	0	0	3,500	3,500		
			当初予算額	0	0	0	5,017	5,017		
			決算額							
H29	農業委員会における各種事務事業において、交付金事業に属さない事項について計上する予定。農家台帳・農地管理システムの維持管理や県農業会議等への負担金等の費用を計上する予定。		計画額	0	0	0	3,500	3,500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	農業委員会における各種事務事業において、交付金事業に属さない事項について計上する予定。農家台帳・農地管理システムの維持管理や県農業会議等への負担金等の費用を計上する予定。		計画額	0	0	0	3,500	3,500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	農家台帳システム維持管理	農家台帳システムの機器のリースおよび農家データの保守業務を行う	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
	負担金支出	各種団体へ負担金の納付	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2	実績値		実績値		実績値		
成果指標	さぬき市産農産物の販売額(JA報告による)	さぬき市産農産物のJAが把握している農産物販売額。 (農林水産課の農業振興事業と成果指標を共有)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	万円	計画値	109,000	計画値	111,000	計画値	113,000	計画値	115,000	
					実績値	109,000	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	23点 /25点	5点	23点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	農家台帳システムにより、膨大な農地関係情報を素早く検索し活用ができた。また、市内の膨大な農地情報と税制情報のリンクにより、遊休農地の発生抑制や違反転用の早期防止を図ることができるものである。						農業者の代表機関としての責務を委員自らが自覚し積極的に活動できる体制作りと、各種研修会の開催を通して農業委員及び地域農業者の意識改革を行うことが大変重要と思われるので、今後とも本事業は必要である。また、農業委員会の多様な業務推進を図るには、膨大な農地関係情報を素早く検索し活用するために、農家台帳システムはなくてはならないものである。農業者等へ迅速で的確な情報を提供するために必要なものである。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	農業振興事業
-----	--------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	②	②多様な担い手の育成・確保

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	15	農業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	東讃農業改良普及協議会等に対する負担金等。 農業振興地域システム保守業務。	市の農業振興について、関係機関と農業課題の研究、啓発活動を実施する。また、農業振興地域の適正管理、農産物の販売促進活動を補助したり、台風等で被災した農業用施設の復旧に対する助成を実施。	計画額	0	0	0	2,641	2,641	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,307	1,307		
			決算額	993	0	0	1,188	2,181		
H27	東讃農業改良普及協議会へ参画し、農業的課題等の研究や普及啓発を実施した。農業振興地域の適正管理のため、農業振興地域システムを保守し、土地異動データを入力・更新したほか、さぬき市産農産物の販売促進活動として市長のトップセールスを神戸・大阪で実施した。台風で被災した農業用施設(ビニールハウス)の復旧に対する助成を実施した。	新たにさぬき市産農産物の販売促進活動に取り組んだ。台風で被災した農業用施設に対する助成を行った。H28年度も引き続き、販売促進活動を支援する。	計画額	0	0	0	661	661	0.5	0.0
			当初予算額	0	0	0	661	661		
			決算額	993	0	0	1,188	2,181		
H28	○東讃農業改良普及協議会等に対する負担金等。 ○農業振興地域システム保守業務 ○農産物販売促進活動に対する助成		計画額	0	0	0	660	660		
			当初予算額	0	0	0	646	646		
			決算額							
H29	○東讃農業改良普及協議会等に対する負担金等。 ○農業振興地域システム保守業務		計画額	0	0	0	660	660		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○東讃農業改良普及協議会等に対する負担金等。 ○農業振興地域システム保守業務		計画額	0	0	0	660	660		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	さぬき市産農産物のPR活動数(トップセールスを含む)	さぬき市産農産物のPR活動を実施する回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	さぬき市産農産物の販売額(JA報告による)	さぬき市産農産物のJAが把握している農産物販売額。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	万円	計画値	109,000	計画値	111,000	計画値	113,000	計画値	115,000
					実績値	109,000	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	農業は、食料の安定供給をはじめ、国土や自然環境の保全、地域における雇用機会の創出など、人々の生活に重要な役割を果たしています。しかし、農業を取り巻く情勢は、農業者の減少や高齢化、これらに伴う生産額の減少や耕作放棄地の増加など厳しい状況にあり、相対的な農業の活力低下が懸念されています。こうしたことから、本事業では、協議会による農業問題の検討や農業振興地域の適正管理、トップセールス等による販売促進活動を実施し、さぬき市農業の活性化のため必要性を感じています。					さぬき市の農業特産物の普及を生産者とともに市長自らトップセールスし、各方面に普及啓発し、販売促進活動するため特に必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	みろくふれあい農園事業
-----	-------------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月9日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	②	②多様な担い手の育成・確保

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	15	農業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市内外の野菜づくりに意欲のある市民に対し農作業の場を提供し、農作業、利用者間の交流を通して市民の健康で文化的な生活の実現を図る。	市内外の農業者以外の住民等が、自然とのふれあいを通じて住民等相互の交流を促進し、地域の活性化や農業に対する理解を深めることを目的とする。	計画額	0	0	1,740	2,814	4,554	—	—
			当初予算額	0	0	990	1,257	2,247		
			決算額	0	0	539	463	1,002		
H27	施設、機械等の管理業務	必要に応じ機械・器具の修理、また鳥獣害対策の1つとしてワイヤメッシュ柵を購入するなど環境の整備に努めた。	計画額	0	0	510	616	1,126	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	510	616	1,126		
			決算額	0	0	539	463	1,002		
H28	施設、機械等の管理業務		計画額	0	0	460	666	1,126		
			当初予算額	0	0	480	641	1,121		
			決算額							
H29	施設、機械等の管理業務		計画額	0	0	410	741	1,151		
			当初予算額							
			決算額							
H30	施設、機械等の管理業務		計画額	0	0	360	791	1,151		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	広報掲載数	広報等を利用し、農園利用者の増加を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	0	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用区画数	みろくふれあい農園に設置してある農園全90区画のうちの使用区画数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	区画	計画値	80	計画値	70	計画値	70	計画値	70	
					実績値	53	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	13点 /25点	3点	14点 /25点				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点				3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	2点				3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点				3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	1点				2点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	近年のサル・いのししによる作物等被害により、現在農園に設置された電気柵やワイヤメッシュ柵、また利用者も、被害にあわないための対策を個々で行っているが状況は深刻である。そのため、年々利用者は減少している。野菜づくり等に興味のある市内外の非農業者が、安心して野菜づくり等に取り組める環境をつくるには、鳥獣害被害対策の強化が必要であるが、農園使用料収入に対し、支出が多く上回っており、今後事業の拡充を図っていくことは難しい。						年々深刻化する鳥獣害被害に対し、利用率が低下し、空区画が増加しているが、野菜や花の栽培に興味がある市内外の非農業者に対して、農作業の場を提供し、利用者の健康づくりや生きがいに寄与している重要な事業である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	農地流動化推進事業
-----	-----------

担当課	農業委員会事務局
-----	----------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	②	②多様な担い手の育成・確保

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	15	農業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	農地中間管理機構と農業委員会が連携して、意欲ある担い手農業者や農業生産法人への農地集積を図ることにより、遊休農地・耕作放棄地の解消を目指すとともに効率的・安定的な農業経営体の育成を図り、さぬき市の農業振興の発展に寄与するものである。	担い手へ農地を集積し効率的・安定的な農業推進を図ることを目的とする。	計画額	400	0	0	363	763	—	—
			当初予算額	200	0	0	271	471		
			決算額	100	0	0	92	192		
H27	農地流動化の推進事業について計上。農業経営基盤強化促進法に基づく貸借に係る事務費計上。 および香川県農地機構との連絡・調整事務を行う。	農地流動化の推進事業について、農業経営基盤強化促進法に基づく貸借に係る事務を実施した。	計画額	100	0	0	93	193	1.0	0.0
			当初予算額	100	0	0	93	193		
			決算額	100	0	0	92	192		
H28	農地流動化の推進事業について計上。農業経営基盤強化促進法に基づく貸借に係る事務費計上。 および香川県農地機構との連絡・調整事務を行う。		計画額	100	0	0	90	190		
			当初予算額	100	0	0	178	278		
			決算額							
H29	農地流動化の推進事業について計上する予定。農業経営基盤強化促進法に基づく貸借に係る事務費計上予定。 および香川県農地機構との連絡・調整事務を予定。		計画額	100	0	0	90	190		
			当初予算額							
			決算額							
H30	農地流動化の推進事業について計上する予定。農業経営基盤強化促進法に基づく貸借に係る事務費計上予定。 および香川県農地機構との連絡・調整事務を予定。		計画額	100	0	0	90	190		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	農用地利用集積計画確認事務	農地の貸し借り契約書の内容確認	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500
					実績値	271	実績値		実績値		実績値	
活動指標	利用権設定契約期間満了者への再設定通知	農地の貸し借りの期間が終了する者に通知する事務	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	300	計画値	300	計画値	300	計画値	300
					実績値	630	実績値		実績値		実績値	
成果指標	利用集積の成立件数	農地の賃貸借が成立したもの	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500
					実績値	271	実績値		実績値		実績値	
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	県農地機構と協調して農地の利用調整を行い担い手農業者に集約し効率的・安定的な農業推進を図る必要があるため。						農地等の利用集積は、農業委員会の重要な業務の1つであり、農業経営基盤強化促進法に基づく貸借に係る事務を実施している。また、近年増加傾向にある遊休地・耕作放棄地の解消を図るためにも重要な事業である。今後育成すべき農業者や担い手農業者への農地集積の円滑化を図ることにより、経営規模の拡大に役立っている。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	担い手育成事業
-----	---------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	②	②多様な担い手の育成・確保

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	15	農業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地域の担い手と位置付けられた経営体(認定農業者等)、及び集落営農組織等の確保・育成や農地中間管理事業を活用した経営改善の促進を図るとともに、兼業、高齢農家、女性農業者、新規就農者など、小規模な農業者に対しても支援を行い、農家総参加の農業基盤の確立を図る。	さぬき市農業の担い手となる経営体に対する国等の補助事業を実施することにより、経営の改善や生産基盤の強化を図る。	計画額	133,168	0	1,200	8,624	142,992	—	—
			当初予算額	84,686	0	650	4,210	89,546		
			決算額	33,909	0	297	1,711	35,917		
H27	・人・農地プラン作成・県農地機構負担金・農業共済組合助成・農業経営基盤強化資金利子助成・担い手育成助成・農地中間管理事業・高品質園芸作物生産拡大条件整備事業・さぬき讚フルーツ生産拡大事業・農地有効活用推進事業・地域を支える集落営農推進強化事業・施設園芸推進事業・青年就農給付金交付事業・規模拡大交付金	担い手となる農業者に対し、機械及び施設導入補助をすることにより、経営改善の促進を図った。また、新規就農者に対する給付事業や農地の利用集積に関する助成を実施した。	計画額	43,168	0	300	2,174	45,642	0.5	0.0
			当初予算額	43,168	0	300	2,174	45,642		
			決算額	33,909	0	297	1,711	35,917		
H28	○県農地機構負担金、農業共済組合等助成金 ○新規就農者への補助事業 ○担い手への農地集積事業及び施設整備導入支援 ○集落営農組織への設立支援及び施設整備導入支援		計画額	30,000	0	300	2,150	32,450		
			当初予算額	41,518	0	350	2,036	43,904		
			決算額							
H29	○県農地機構負担金、農業共済組合等助成金 ○新規就農者への補助事業 ○担い手への農地集積事業及び施設整備導入支援 ○集落営農組織への設立支援及び施設整備導入支援		計画額	30,000	0	300	2,150	32,450		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○県農地機構負担金、農業共済組合等助成金 ○新規就農者への補助事業 ○担い手への農地集積事業及び施設整備導入支援 ○集落営農組織への設立支援及び施設整備導入支援		計画額	30,000	0	300	2,150	32,450		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	人農地プラン作成件数	今後の農業施策上の基礎となる【人・農地プラン】を市内の集落単位で作成する。 ※国の政策転換により集落単位に拘らず、さぬき市全域のプランを作成。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	集落	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
					実績値	0	実績値		実績値		実績値		
成果指標	認定農業者数	さぬき市農業の担い手となる認定農家の経営体数。担いてとなる農業者の確保・育成を行なう。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	経営体	計画値	92	計画値	94	計画値	96	計画値	98	
					実績値	100	実績値		実績値		実績値		
	担い手の耕作農地面積	担い手となる認定農業者が交錯する農地の面積。担い手への農地集積が進むことで、耕作農地の保全並びに耕作放棄地の発生を防いでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値	450	計画値	500	計画値	550	計画値	600	
					実績値	452	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	本市の農業は、稲作を中心に、ネギ、キャベツ、ブロッコリーなどの野菜や果樹の栽培、乳用牛、肉用牛、豚などの飼育が行われています。輸入農産物との競争の激化や米価の低迷による収入の減少、また、農業者の高齢化や後継者不足が顕著であります。こうしたことから、意欲ある多様な担い手を育成・確保することや集落営農の組織化を推進し、農業者の持続可能な経営体制を整備するため、農地の利用集積や需要のある農産物への作付転換を推奨し、農業経営の安定化、効率化を図っていく必要があります。						地域の担い手と位置づけられた経営体及び集落営農組織等の確保・育成や経営改善の促進を図るとともに、農業の担い手育成・確保のために女性農業者、新規就農者など農業者に対しても支援を行っており重要な事業である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	農業委員会交付金事業
-----	------------

担当課	農業委員会事務局
-----	----------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	③	③ 農地保全と耕作放棄地対策の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	05	農業委員会費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	農業委員会は、市町村に設置される行政機関であり、農業及び農業者の利益を代表する機関であり、農業者の地位向上並びに農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図ることを目的とし事業を展開する。 市内の土地利用等について無秩序な開発等を防止し、農業経営の安定を今後とも図る。	農地法に基づく法令業務を適正に執行するとともに、農業者の公的代表的機関として農政活動を行い、農業委員会を円滑に運営する。	計画額	6,707	0	0	53,280	59,987	—	—
			当初予算額	3,661	0	0	28,347	32,008		
			決算額	1,607	0	0	13,609	15,216		
H27	農業委員会における各種事務事業において、交付金事業に属する事項について計上している。農業委員の委員報酬、農地の適正な利用・耕作放棄地などを巡視するための費用を計上している。	農業委員会における各種事務事業、農業委員の委員報酬、農地制度実施円滑化事業に関する事務費の支出等をした。 全農業委員による会議を定期的開催した。	計画額	1,607	0	0	14,280	15,887	0.5	0.0
			当初予算額	1,607	0	0	14,280	15,887		
			決算額	1,607	0	0	13,609	15,216		
H28	農業委員会における各種事務事業において、交付金事業に属する事項について計上している。農業委員の委員報酬、農地の適正な利用・耕作放棄地などを巡視するための費用を計上している。		計画額	1,700	0	0	14,000	15,700		
			当初予算額	2,054	0	0	14,067	16,121		
			決算額							
H29	農業委員会における各種事務事業において、交付金事業に属する事項について予定。農業委員の委員報酬、農地の適正な利用・耕作放棄地などを巡視するための費用を予定。		計画額	1,700	0	0	13,000	14,700		
			当初予算額							
			決算額							
H30	農業委員会における各種事務事業において、交付金事業に属する事項について予定。農業委員の委員報酬、農地の適正な利用・耕作放棄地などを巡視するための費用を予定。		計画額	1,700	0	0	12,000	13,700		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	全体会の開催	全農業委員による会議	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 13	実績値 13	計画値 13	実績値	計画値 13	実績値	計画値 13	実績値
	各種申請審査	農地法等に基づく申請の審査、許可、県への進達	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 200	実績値 146	計画値 200	実績値	計画値 200	実績値	計画値 200	実績値
成果指標	耕作放棄地面積	農地利用状況調査における耕作放棄地面積	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 400	実績値 383	計画値 400	実績値	計画値 400	実績値	計画値 400	実績値
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点		19点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	毎月定例会を開催することにより、幅広い意見の集約ができるものである。また、農地法に基づく農地の権利移動の許可等法令に基づく業務を実施するとともに、優良農地の流動化、担い手農業者育成支援など農業行政推進に必要な機能を発揮するものである。						農業委員会は、農地について農業者が主体となり、客観性、公平性を持つ自主的な組織体を構成しており、自らがその利用及び管理を担うことが市農地政策の遂行上、最も効果的、効率的である。農地法・農業委員会法等の改正により、農業委員会には農地利用最適化が法令業務として明文化され、耕作放棄地対策など農地を守り担い手の育成など人づくりの推進がますます重要となってきており、地域農業者の意見等の踏まえながら、農地利用の最適化を図る必要がある。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	耕作放棄地対策事業
-----	-----------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	③	③ 農地保全と耕作放棄地対策の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	15	農業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 国の制度を活用し、市内にある耕作放棄地を耕作可能な状態に再生することで、地域の農業を守るとともに、将来の担い手への農地集積の加速化を図る。	耕作放棄地の解消を図り、担い手への農地集積を図る。	計画額	3,500	0	0	0	3,500	—	—
			当初予算額	2,000	0	0	1,000	3,000		
			決算額	0	0	0	0	0		
H27	国の制度を活用し、市内にある耕作放棄地を再生利用する取り組みを支援する。	当初予定していた事業者が事業を行わなかったため、実績なし。	計画額	2,000	0	0	0	2,000	0.2	0.0
			当初予算額	2,000	0	0	0	2,000		
			決算額	0	0	0	0	0		
H28	オリーブや市が指定する作物の栽培の普及推進を図り、地域の農地を保全するとともに遊休農地化の発生防止対策を目的とする。 国の制度を活用し、市内にある耕作放棄地を再生利用する取り組みを支援する。		計画額	500	0	0	0	500		
			当初予算額	0	0	0	1,000	1,000		
			決算額							
H29	国の制度を活用し、市内にある耕作放棄地を再生利用する取り組みを支援する。		計画額	500	0	0	0	500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	国の制度を活用し、市内にある耕作放棄地を再生利用する取り組みを支援する。		計画額	500	0	0	0	500		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	耕作放棄地の再生支援件数	耕作放棄地の再生を支援した件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
成果指標	オリーブ栽培面積	オリーブの作付による耕作放棄地の解消を図る。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	m ²	計画値	5,200	計画値	10,000	計画値	15,000	計画値	20,000
					実績値	5,200	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	農業者の高齢化や後継者不足と相まって、耕作放棄地の増加が深刻化してきており、相対的な農業の活力低下が懸念されています。こうしたことから、香川の気候に適しているオリーブや市が指定する作物を栽培することにより耕作放棄地の解消のため事業を推進していく必要があります。					農業者の高齢化や後継者不足と相まって、耕作放棄地の増加が深刻化している。そのため、新たな補助制度を導入し、県事業では該当にならない対象等に拡大し、オリーブ等市が指定する作物の栽培を促し、耕作放棄地の解消をめざす。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	中山間地域等直接支払制度事業
-----	----------------

担当課	土地改良課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	③	③ 農地保全と耕作放棄地対策の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	55	中山間地域直接支払事業費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	中山間地域等における集落と農用地を維持・管理していくための協定を締結し、地目及び傾斜区分毎に設定された交付単価に基づいて協定農用地面積に応じた金額を交付する。	急傾斜地など生産コストがかかる中山間地域における平地との農業生産条件の不利補正策として、農業生産活動の維持・活性化を図り、多面的機能の確保や耕作放棄を未然に防ぐことを目的とした事業である。	計画額	65,078	0	0	25,135	90,213	—	—
			当初予算額	33,023	0	0	13,153	46,176		
			決算額	14,310	0	0	8,377	22,687		
H27	市内28集落、160haの農家に対し助成するものである採択要件としては、対象地域として5法指定地域ならびに特認地域であること。対象農用地は1ha以上。	4期開始年度であり、新規に2集落と協定を結び、協定継続集落についても協定農用地の見直し等を行った。※H28年度以降の協定農用地の追加と体制整備活動の新規取組の要望があるので1部集落協定を結び直す。	計画額	17,858	0	0	7,585	25,443	0.9	0.0
			当初予算額	17,858	0	0	7,585	25,443		
			決算額	14,310	0	0	8,377	22,687		
H28	市内28集落、160haの農家に対し助成するものである採択要件としては、対象地域として5法指定地域ならびに特認地域であること。対象農用地は1ha以上。		計画額	15,740	0	0	5,850	21,590		
			当初予算額	15,165	0	0	5,568	20,733		
			決算額							
H29	市内28集落、160haの農家に対し助成するものである採択要件としては、対象地域として5法指定地域ならびに特認地域であること。対象農用地は1ha以上。		計画額	15,740	0	0	5,850	21,590		
			当初予算額							
			決算額							
H30	市内28集落、160haの農家に対し助成するものである採択要件としては、対象地域として5法指定地域ならびに特認地域であること。対象農用地は1ha以上。		計画額	15,740	0	0	5,850	21,590		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	集落協定数	5年間事業に取り組む集落とその活動内容について協定を締結する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 28	実績値 28	計画値 28	実績値	計画値 28	実績値	計画値 28	実績値	
	対象農用地面積	協定に記載され事業対象となっている農用地。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 147	実績値 147	計画値 147	実績値	計画値 147	実績値	計画値 147	実績値	
成果指標	耕作放棄地防止効果	農用地減少防止面積＝対象農用地×11.6%(国の率) 耕作放棄地防止面積＝農用地減少防止面積×46%(かい廃率) ※第3期対策最終評価(農林水産省)参照	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 8	実績値 8	計画値 8	実績値	計画値 8	実績値	計画値 8	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	中山間地域は流域の上流部に位置し、その地域における農業生産活動は下流域に対して水源涵養機能、洪水防止機能等の多面的機能を有しています。しかし、中山間地域は農業生産活動において自然的・経済的・社会的条件が不利な地域であり、特に担い手の減少、耕作放棄地の増大が進みやすい地域でもあります。本事業により中山間地域における農業生産活動の支援を行うことは、中山間地域の有する水源涵養、災害防止といった役割を維持することに対して大いに効果があると考えています。対象地域が制限され、また農業生産活動に不利な地域であることから事業対象となる集落、農用地の大幅な増大が見込まれないこともあり、現在協定を締結している集落、農用地に引き続き支援を続けていくことが重要であると考えます。						当事業は、中山間地域の深刻な担い手不足や耕作放棄地の増大に対するの防止策として多大な効果を発揮しており、更なる事業推進により、中山間地域における農業生産活動の向上及び多面的機能の増大につなげていく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	有害鳥獣被害防止対策事業
-----	--------------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	④	④ 鳥獣被害対策の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	15	農業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	鳥獣の保護、及び狩猟の適正化に関する法律第9条、及び第19条の規定に基づく事務、並びに有害鳥獣による農作物の被害を防止するための事業である。	侵入防止柵の設置補助等の農地防衛と地区猟友会による適切な個体数調整を組み合わせることで、市内における有害鳥獣(イノシシ・ニホンザル等)による農作物等への被害を防止・軽減するための事業である。	計画額	7,183	0	6,840	25,068	39,091	—	—
			当初予算額	7,622	0	1,710	14,390	23,722		
			決算額	4,969	0	0	6,742	11,711		
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵設置に係る県農業共済組合との合同補助 (防除ネット 26セット・電気柵 21セット・金網柵 3,029枚) ・侵入防止柵(電気柵等)設置に係る市補助 (3セット) ・狩猟免許申請手数料補助 (夏期 24名・冬期 5名 計29名) ・有害鳥獣捕獲に対する捕獲奨励金 (イノシシ 548頭・ニホンザル 129頭・アライグマ 13頭・ハクビシン 11頭) 等 	狩猟免許新規取得者への補助として、従来対象としてきた夏期試験合格者に加え、H27年度からは冬期試験合格者についても狩猟免許申請手数料(上限5,200円)と予備講習会受講料(全額補助)の補助を行った。	計画額	1,795	0	1,710	6,267	9,772	1.2	0.0
			当初予算額	1,795	0	1,710	6,267	9,772		
			決算額	4,969	0	0	6,742	11,711		
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵設置に係る県農業共済組合との合同補助 ・侵入防止柵(電気柵等)設置に係る市補助 ・狩猟免許申請手数料補助 ・集落における鳥獣被害防止対策推進への補助 ・有害鳥獣捕獲に対する捕獲奨励金 ・さぬき市鳥獣害対策協議会の事業執行に係る補助 等 		計画額	1,795	0	1,710	6,267	9,772		
			当初予算額	5,827	0	0	8,123	13,950		
			決算額							
H29	鳥獣害被害発生対策としての事務と団体に対する補助、被害防止のための補助等を行う。		計画額	1,798	0	1,710	6,267	9,775		
			当初予算額							
			決算額							
H30	鳥獣害被害発生対策としての事務と団体に対する補助、被害防止のための補助等を行う。		計画額	1,795	0	1,710	6,267	9,772		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	有害鳥獣捕獲件数	市内地区猟友会等により有害鳥獣捕獲され捕獲奨励金の対象になったイノシシ及びニホンザルの頭数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	頭	計画値 450	実績値 677	計画値 400	実績値	計画値 400	実績値	計画値 350	実績値	
	侵入防止柵(電気柵等)設置数	市の補助事業を活用して設置された侵入防止柵(電気柵等)の設置数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	セット	計画値 20	実績値 3	計画値 20	実績値	計画値 20	実績値	計画値 20	実績値	
成果指標	さぬき市産農産品の販売額(JA報告による)	有害鳥獣による農作物被害額(減少していれば事業の効果が認められる)、これが不明なら農産品販売額(農業振興事業と成果指標を共有)。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	万円	計画値 109,000	実績値 109,000	計画値 111,000	実績値	計画値 113,000	実績値	計画値 115,000	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	4点		20点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由 市内における有害鳥獣(イノシシ・ニホンザル等)による農作物等への被害は年度によって増減があるものの、有害鳥獣の生息数自体は増加傾向にあるため、今後も侵入防止柵の設置補助等の農地防衛と市内地区猟友会による適切な捕獲・個体数調整を組み合わせることで、農作物を有害鳥獣から守ることを強化できている。 ただし、将来的には、今まで継続して行ってきた対策の効果が表れ、市内農作物等への被害が逡減していくことを目指しているため、本事業自体も縮小していくことが望ましいと考えられる。						年々深刻化する農作物被害を最小限に抑える役割を果たしているため、必要であると考え、自主防衛(電気柵等)と捕獲を組み合わせることで、農作物を有害鳥獣から守ることを強化できている。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	産地づくり事業
-----	---------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑤	⑤ 農産物のブランド化と6次産業化の推進、地産地消の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	15	農業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 消費者ニーズに対応した付加価値の高い農産物を安定的に生産し、多様な流通・販売体制により産地づくりを図る。また、地産地消や食育の推進、さらに食の安全・安心の確保に向けた取り組みにより、消費者との信頼関係を深める。	農作物生産に対する支援を行い、安定的な生産及び健全な経営を図る。また、食への意識を高めるため、親子参加型の食育推進活動等を行う。	計画額	0	0	0	9,106	9,106	—	—
			当初予算額	523	0	0	12,440	12,963		
			決算額	0	0	0	7,982	7,982		
H27	○市生活研究グループ連絡協議会への補助 ○産地づくり補助金 ○大串ぶどう園撤去事業 ○大串ぶどう園土地借上料	・農業者団体の農産物生産価値を高める活動に対し支援した。 ・大串ぶどう園の土地賃貸借契約期間満了のため、地権者へ土地を返還した。	計画額	0	0	0	8,446	8,446	0.6	0.0
			当初予算額	0	0	0	8,446	8,446		
			決算額	0	0	0	7,982	7,982		
H28	○市生活研究グループ連絡協議会への補助 ○産地づくり補助金 ○産地育成強化推進事業(農業協同組合・認定農業者・農事組合法人等への機械整備等補助) ○環境保全型農業直接支払交付金		計画額	0	0	0	220	220		
			当初予算額	523	0	0	3,994	4,517		
			決算額							
H29	○市生活研究グループ連絡協議会への補助 ○産地づくり補助金 ○産地育成強化推進事業(農業協同組合・認定農業者・農事組合法人等への機械整備等補助) ○環境保全型農業直接支払交付金		計画額	0	0	0	220	220		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○市生活研究グループ連絡協議会への補助 ○産地づくり補助金 ○産地育成強化推進事業(農業協同組合・認定農業者・農事組合法人等への機械整備等補助) ○環境保全型農業直接支払交付金		計画額	0	0	0	220	220		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	さぬき市生活研究グループ連絡協議会活動回数	生活研究グループ員相互の連絡と親睦を密にし、グループ活動の促進と地域の発展に寄与する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12
					実績値	14	実績値		実績値		実績値	
成果指標	市内に農作物直売所に出 品している農業者数	地産地消を促進するため、市内の農産物直売所に農産物を出品している農業者の総数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200	計画値	205	計画値	210	計画値	215
					実績値	216	実績値		実績値		実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
					実績値		実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	3点		19点 /25点
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		4点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		4点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	特色ある農作物の産地を育成するため、また、地域の特性を生かした個性的な生産・販売ができる環境を整備し、さぬき市ならではのきめ細やかな支援対策を推進するために本事業は必要である。農家の高齢化等による市農業の衰退や地域の農業を担っていく農家に対し、その農業経営を支援していくことで市農業の衰退に歯止めを掛けるとともに、更なる産地の育成・強化を図る。						特色ある農作物の産地を育成し、また、地域の特性を生かした個性的な生産・販売ができる環境を整備し、さぬき市ならではのきめ細やかな支援対策を推進するために必要な事業である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	米政策改革支援事業
-----	-----------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑤	⑤ 農産物のブランド化と6次産業化の推進、地産地消の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	15	農業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 国の農業政策については、大きな転換期を迎えている中、農産物の安定供給、産地育成強化を図る。	地域協議会と連携し、農産物の安定供給及び経営所得の改善を図る。	計画額	28,797	0	0	15,898	44,695	—	—
			当初予算額	15,072	0	0	3,973	19,045		
			決算額	7,064	0	0	2,991	10,055		
H27	○産地育成強化推進事業(農業協同組合・認定農業者・農事組合法人等への機械整備等補助) ○経営所得安定対策推進事業 ○環境保全型農業直接支援事業	・集落営農組織等に対し、新たな機械の導入支援をした。 ・水稲の生産管理を行うことにより、農業者の経営所得安定を図った。 ・環境保全に効果の高い営農活動促進支援を行った。	計画額	7,572	0	0	3,973	11,545	0.5	0.0
			当初予算額	7,572	0	0	3,973	11,545		
			決算額	7,064	0	0	2,991	10,055		
H28	○経営所得安定対策推進事業		計画額	7,075	0	0	3,975	11,050		
			当初予算額	7,500	0	0	0	7,500		
			決算額							
H29	○経営所得安定対策推進事業		計画額	7,075	0	0	3,975	11,050		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○経営所得安定対策推進事業		計画額	7,075	0	0	3,975	11,050		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	生産調整の説明会開催回数	生産調整に伴う説明会の開催回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	20	計画値	20	計画値	20	計画値	20	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	20	実績値		実績値		実績値		
成果指標	生産調整への取り組み成果	県から割り当てられた作付け面積に対する達成率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	90	計画値	90	計画値	90	計画値	90	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	94	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	21点 /25点	4点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由						理由							
農業者の経営所得安定を図るため、必要な経費である。地域協議会に対し必要な経費を助成し、実施に必要なシステム更新や直接支払等に関する経費を助成する。なお、平成27年度に行っていた産地育成強化推進事業及び環境保全型農業直接支援事業については、事業名と事業内容を精査した結果、平成28年度から産地づくり事業へと移行させた。						国の農業施策については、大きな転換期を迎えている中、米の生産調整等について引き続き適切な実施が必要であり、その実施に対する推進が重要となる。地域の特性を生かした特産物の生産を行うための総合的な対策を講ずるため重要な事業である。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	ワイン加工施設管理事業
-----	-------------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑤	⑤ 農産物のブランド化と6次産業化の推進、地産地消の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	22	農業農村施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 老朽化している施設を更新することにより、良質なワインの生産に寄与する。また、電気設備を修繕することで、施設及び周辺地域への電気事故の発生を未然に防ぐ。	老朽化している施設の適正管理を行うことにより、良質なワインを生産する。また、施設及び周辺地域への安全を確保する。	計画額	0	0	0	22,642	22,642	—	—
			当初予算額	0	0	0	22,310	22,310		
			決算額	0	0	0	5,454	5,454		
H27	○ワイン加工施設貯酒冷却器更新 ○ワイン加工施設電気設備(PAS)交換	・ワイン貯酒冷却器更新により、ワインの品質向上を図った。 ・電気設備(PAS)を修繕し、施設及び周辺地域への安全確保を行なった。	計画額	0	0	0	5,942	5,942	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	5,942	5,942		
			決算額	0	0	0	5,454	5,454		
H28	○ワイン加工施設屋根修繕		計画額	0	0	0	1,100	1,100		
			当初予算額	0	0	0	16,368	16,368		
			決算額							
H29	○ワイン加工施設トイレ修繕 ○物産センタートイレ修繕		計画額	0	0	0	2,500	2,500		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○ワイン加工施設機器修繕		計画額	0	0	0	13,100	13,100		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	ワイン加工施設修繕件数	施設の適正管理に係る修理件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	2	計画値	1	計画値	3	計画値	3
					実績値	2	実績値		実績値		実績値	
成果指標	ワイン売上	ワインの売上高。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	34,870	計画値	33,306	計画値	33,306	計画値	33,306
					実績値	32,404	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	16点 /25点	4点		17点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	当該施設は県内唯一のワイン加工施設であり、大串自然公園の入口付近に位置する。建物は建設以来27年を経過しており、経年劣化、また度重なる台風被害等による外観の痛みが著しい。大串半島のロケーションに見合う建物外観風景を回復させることで、来客者の印象や、大串半島全体の印象をより良くしていく。また、良質なワインを生産する環境を確保することにより、さぬきワインの品質を向上させ、消費者の満足度を高める。						県内唯一のワイン加工施設であるが、建築以来27年を経過しており、経年劣化、また度重なる台風被害等による外観の痛みが著しい。しかし、大串半島のロケーションに見合う建物外観風景を回復させることで、来客者の印象や、大串半島全体の印象をより良くしていく。また、商工観光課とも連携をとり、大串半島全体としての在り方の検討が必要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	地域活性化複合施設管理事業②(施設整備関係)
-----	------------------------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑤	⑤ 農産物のブランド化と6次産業化の推進、地産地消の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	22	農業農村施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 旧多和小学校施設を活用し、産直市や天体望遠鏡博物館等を含んだ地域活性化複合施設を整備する。	多和地区の地域活性化のための拠点を整備することを目的とする事業である。	計画額	0	34,100	0	329	34,429	—	—
			当初予算額	0	34,100	0	329	34,429		
			決算額	0	27,800	0	2,111	29,911		
H27	・用地買収 ・駐車場整備	借地であった旧多和小学校の運動場の一部を買収し、地域活性化複合施設の駐車場として整備した。	計画額	0	34,100	0	79	34,179	0.1	0.0
			当初予算額	0	34,100	0	79	34,179		
			決算額	0	27,800	0	2,111	29,911		
H28	※27年度で事業終了		計画額	0	0	0	250	250		
			当初予算額	0	0	0	250	250		
			決算額							
H29	具体的取組		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30			計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	地域活性化拠点数(多和地区)	地域活性化の拠点となる施設数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	施設	計画値	1	計画値		計画値		計画値	
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	事業進捗率		<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値	100	計画値		計画値		計画値	
					実績値	100	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	20点 /25点	4点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点			4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点			4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点			3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
	多和地区の活性化の拠点として、閉校となった多和小学校を改修し、産直市や天体望遠鏡博物館等を含んだ複合的な施設として整備した。平成27年度からは当該施設を「結願の里 多和の会」に指定管理委託しており、今後は指定管理者において当該施設を活用した地域活性化に向けたソフト面での取組が重要となってくる。						多和地区の活性化の拠点として、産直市や天体望遠鏡博物館を核とした「地域活性化複合施設・結願の里」の施設整備が平成27年度で完了した。当該施設は「結願の里 多和の会」に指定管理委託しており、今後は指定管理者において施設の有効活用に取り組むことになる。					
	理由											

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	地域活性化複合施設管理事業①(施設管理・運営関係)
-----	---------------------------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑤	⑤ 農産物のブランド化と6次産業化の推進、地産地消の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	22	農業農村施設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 旧多和小学校施設を活用し、天体望遠鏡博物館を核とした地域活性化複合施設を整備して運営していくことで、市の観光及び産業の振興、定住促進など、地域活性化のための取組を推進していく事業である。	産直、どぶろく、天体望遠鏡博物館と地域活性化複合施設を整備し、市の観光等に推進していく。	計画額	0	0	1,000	11,093	12,093	—	—
			当初予算額	0	0	1,000	10,031	11,031		
			決算額	0	0	1,000	2,908	3,908		
H27	指定管理者とともに、地域活性化複合施設「結願の里」の施設の運営管理を行う。	平成28年3月13日からの天体望遠鏡博物館開館に向けて、役員会等で協議を重ねた。指定管理者、天体望遠鏡関係者、政策課と協力して式典を成功させた。	計画額	0	0	1,000	2,843	3,843	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	1,000	2,843	3,843		
			決算額	0	0	1,000	2,908	3,908		
H28	具体的取組 指定管理者とともに、地域活性化複合施設「結願の里」の施設の運営管理を行う。		計画額	0	0	0	2,750	2,750		
			当初予算額	0	0	0	7,188	7,188		
			決算額							
H29	指定管理者とともに、地域活性化複合施設「結願の里」の施設の運営管理を行う。		計画額	0	0	0	2,750	2,750		
			当初予算額							
			決算額							
H30	指定管理者とともに、地域活性化複合施設「結願の里」の施設の運営管理を行う。		計画額	0	0	0	2,750	2,750		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	修繕箇所数	施設の機能維持を図り、利用者が快適に利用できる ように適宜修繕を施す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	0	計画値	2	計画値	2	計画値	2
					実績値	0	実績値		実績値		実績値	
成果指標	施設入場者数(天体望遠 鏡博物館)	土日、土日に係る祝日の施設入場者数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	500	計画値	3,000	計画値	3,000	計画値	3,000
					実績値	401	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	15点 /25点	4点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	2点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	天体望遠鏡博物館も平成28年3月13日から開館した。市の観光及び産業の振興、定住促進など、地域活性化のため、指定管理者とともに、地域活性化複合施設「結願の里」の施設の運営管理を行っていく。					旧多和小学校施設を活用し、地域活性化複合施設を整備して運営していくことで、市の観光及び産業の振興等、地域活性化のための取組を推進していく重要な事業である。天体望遠鏡博物館も開館し、今後さぬき市の観光の1つとして重要な役割を担う施設である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	畜産振興事業
-----	--------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑤	⑤ 農産物のブランド化と6次産業化の推進、地産地消の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	05	農業費
目	30	畜産業費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 外国産食肉の輸入拡大、食の安全性の問題など、取り巻く環境が非常に厳しい畜産農家の意欲拡大を図るための事業。	高齢化・後継者不足及び飼料価格高騰等の複数の要因により、経営環境が厳しさを増している市内酪農・畜産農家に対し、県畜産共進会への出品補助等を行い、農家の生産意欲の向上に資するための事業である。	計画額	0	0	0	480	480	—	—
			当初予算額	0	0	0	330	330		
			決算額	0	0	0	114	114		
H27	○県畜産協会負担 (負担金 110千円) ○県畜産共進会補助 (家畜搬入運賃補助 1頭分)	・さぬき市が加盟している公益社団法人香川県畜産協会に対して負担金を拠出した。 ・農家の生産意欲及び市内畜産物の品質の向上を図るため、香川県畜産共進会への出品補助を行った。	計画額	0	0	0	120	120	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	120	120		
			決算額	0	0	0	114	114		
H28	具体的取組 ○県畜産協会負担 ○県畜産共進会補助 ○農協各部会(酪農部会・肉牛部会)等補助		計画額	0	0	0	120	120		
			当初予算額	0	0	0	210	210		
			決算額							
H29	○県畜産協会負担 ○県畜産共進会補助 ○農協各部会(酪農部会・肉牛部会)等補助		計画額	0	0	0	120	120		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○県畜産協会負担 ○県畜産共進会補助 ○農協各部会(酪農部会・肉牛部会)等補助		計画額	0	0	0	120	120		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	県畜産共進会への出品頭数	県畜産共進会への出品頭数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	頭	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	10	実績値		実績値		実績値		
成果指標	県畜産共進会への出品頭数	牛・豚等の改良の成果と肉の品質を競う県畜産共進会に出品された家畜頭数。	<input type="checkbox"/> 総合計画	頭	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	10	実績値		実績値		実績値		
	農協畜産部会(酪農部会・肉牛部会)の会員数	農協畜産部会(酪農部会・肉牛部会)の会員数。	<input type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	100	計画値	130	計画値	140	計画値	140	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	117	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	15点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	高齢化・後継者不足及び飼料価格高騰等の複数の要因により、厳しい経営状況に置かれている市内酪農・畜産農家に対しては、今後とも県畜産共進会への出品補助等を行い、農家の生産意欲の向上を継続的に図っていく必要があるため。						畜産農家は、厳しい経営状態にあるため、畜産共進会への支援は畜産業活性化のために必要であると思われる。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	林業振興事業
-----	--------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑥	⑥ 林業基盤の整備

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	10	林業費
目	05	林業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	森林施業の振興と森林の公益的機能の充実を図る。	森林の適切な維持管理及び保全を行うことにより自然環境の維持を目的とする。さぬき市森林経営計画に基づき適切な施業を推進し、森林資源の育成と多面的機能の維持管理を図る。	計画額	18,254	0	0	36,591	54,845	—	—
			当初予算額	7,965	0	0	28,770	36,735		
			決算額	2,795	0	0	11,132	13,927		
H27	○森林の管理並びに施業(植栽、保育等)への補助金 ○市有林の管理及び施業(搬出間伐)	さぬき市森林経営計画に基づき、計画的に下刈り、間伐等の保育施業を行った。また、私有林についても同様に保育施業を行う者に県査定額の1割を補助金として交付した。	計画額	4,190	0	0	10,600	14,790	0.7	0.0
			当初予算額	4,190	0	0	10,600	14,790		
			決算額	2,795	0	0	11,132	13,927		
H28	○森林の管理並びに施業(植栽、保育等)への補助金 ○市有林の管理及び施業(除間伐)		計画額	4,688	0	0	8,491	13,179		
			当初予算額	3,775	0	0	18,170	21,945		
			決算額							
H29	○森林の管理並びに施業(植栽、保育等)への補助金 ○市有林の管理及び施業(除間伐)		計画額	4,688	0	0	9,009	13,697		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○森林の管理並びに施業(植栽、保育等)への補助金 ○市有林の管理及び施業(除間伐)		計画額	4,688	0	0	8,491	13,179		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	私有林整備補助	私有林の整備(植栽・保育等)に対し補助金を交付し、森林環境改善等を目的とした施業の集約化を促進する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 49	実績値 49	計画値 35	実績値	計画値 35	実績値	計画値 35	実績値	
	市有林整備	さぬき市森林経営計画のに基づき、市有林整備を施業する。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 14	実績値 7	計画値 11	実績値	計画値 6	実績値	計画値 4	実績値	
成果指標	森林施業の効率化	整備を終えた森林の面積または比率。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	ha	計画値 63	実績値 56	計画値 46	実績値	計画値 41	実績値	計画値 39	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点		18点 /25点	
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
	理由						理由						
森林環境保全のため、さぬき市森林経営計画に基づく施業を鋭意に進めることにより、計画的な保全に取り組む。また、私有林に対しても適切な維持管理が行われておらず荒廃が進んでいるのが現状である。補助金交付を含め、各種様々な面で維持管理に対する意識改革を取り入れることが必要である。						木材価格の長期低落傾向から脱する見通しがつけにくく、また所有者の山林に対する投資意識は薄く、今後の森林の荒廃が危惧されるところである。しかし、森林環境保全のため、市森林経営計画に基づく施業、私有林施業に対し補助金交付することにより所有者負担の軽減を図り、森林荒廃を少しでもくいとめる必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	治山林道事業
-----	--------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月19日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑥	⑥ 林業基盤の整備

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	10	林業費
目	10	治山林道建設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容		事業費(千円)					担当職員数(人)	
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国庫支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	事業概要 林道の改良及び維持管理並びに治山	さぬき市林道は42路線あり、解説後長い年月が経っており損傷が大きくなっている個所が見受けられる。通行時等の安全性を保持し、事故等を未然に防ぐため危険と判断される路線について治山事業を施業する。	計画額	45,879	32,000	6,143	22,358	106,380	—	—
			当初予算額	7,822	7,300	840	12,032	27,994		
			決算額	4,342	3,200	364	6,544	14,450		
H27	○県単独補助林道整備事業2路線 ○林道維持修繕	林道改良事業として2路線、橋梁改修1ヶ所及び維持修繕を行った。また、林道の状況を調査することにより今後の改良、維持修繕の計画的施業の推進につとめる。	計画額	4,401	3,200	410	6,851	14,862	0.6	0.0
			当初予算額	4,401	3,200	410	6,851	14,862		
			決算額	4,342	3,200	364	6,544	14,450		
H28	○国庫補助林道整備事業1路線 ○県単独補助林道整備事業2路線 ○林道維持修繕		計画額	13,826	9,600	1,911	5,169	30,506		
			当初予算額	3,421	4,100	430	5,181	13,132		
			決算額							
H29	○国庫補助林道整備事業1路線 ○県単独補助林道整備事業2路線 ○林道維持修繕		計画額	13,826	9,600	1,911	5,169	30,506		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○国庫補助林道整備事業1路線 ○県単独補助林道整備事業2路線 ○林道維持修繕		計画額	13,826	9,600	1,911	5,169	30,506		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	林道施設等の改良	老朽化した林道の修繕を行い、適正な維持管理を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	改良数	計画値 2		計画値 2		計画値 2		計画値 2	
	林道維持修繕	林道通行時に支障となる雑草木、崩土の除去等の修繕を行う。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	修繕数	計画値 10		計画値 10		計画値 10		計画値 10	
成果指標	林道施設の保全	適切に保全されている林道施設の数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	整備数	計画値 12		計画値 12		計画値 12		計画値 12	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	15点 /25点	3点	16点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
方向性	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
今後の方向性理由	林業振興、自然環境保全には林道整備は必要不可欠なものである。現在行っている事業については、整備されている林道の維持管理は安全性などを確保するための適正管理であるため、継続的な事業実施が見込まれる。						市内における林業振興には、植栽、枝打ち、間伐材搬出等施業の基幹となる林道整備は必要不可欠であり、継続的に維持管理し、また生活道的役割も担っているため、林道の通行の安全を確保するための適正管理であることから、継続的な事業の遂行が必要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	教育のもり管理事業
-----	-----------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月13日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	3	(3) 農林業の振興
主要施策	⑦	⑦ 森林への総理解の浸透

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	10	林業費
目	05	林業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地域住民、一般利用者が森林とのふれあいや体験学習を通じて、森林や山村に対する理解を深め、地域の再発見、地域づくりへの参加、及び世代間、地域間交流の促進を図る。	多和地区にある施設(教育のもり)の適切な維持管理を行い、炭焼き施設を利用した、炭焼きやシイタケの植菌を地域の児童に体験学習をさせることにより、森林への親しみを深める。	計画額	0	0	0	2,826	2,826	—	—
			当初予算額	0	0	0	1,396	1,396		
			決算額	0	0	0	489	489		
H27	○教育のもり維持管理 ○椎茸植菌等の体験学習会実施	教育のもりの適切な維持管理を行い、地域の児童に向けて、椎茸植菌の体験学習を開催した。	計画額	0	0	0	710	710	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	710	710		
			決算額	0	0	0	489	489		
H28	○教育のもり維持管理 ○椎茸植菌等の体験学習会実施		計画額	0	0	0	686	686		
			当初予算額	0	0	0	686	686		
			決算額							
H29	○教育のもり維持管理 ○椎茸植菌等の体験学習会実施		計画額	0	0	0	715	715		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○教育のもり維持管理 ○椎茸植菌等の体験学習会実施		計画額	0	0	0	715	715		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	教育のもり体験学習実施回数	炭焼窯を利用した炭焼きや椎茸の植菌などの体験学習を行った回数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	1	計画値	0	計画値	0
	遊歩道整備業務日数	遊歩道の草刈りや路肩修繕等の土木作業を行った日数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	日	計画値	10	計画値	10	計画値	0	計画値	0
成果指標	体験学習の参加者数	体験学習の参加者数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	10	計画値	10	計画値	0	計画値	0
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	11	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い		1点	5点 /25点	1点	5点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている		1点		1点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い		1点		1点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない		1点		1点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない		1点		1点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ● 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ● 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	平成28年度は、前山小学校のによる椎茸植菌等の体験学習会を予定しているが、平成28年度末を持って前山小学校が閉校することから、平成29年度以降、本施設の休止を含めて検討する。 なお、民間等による施設の利用要望により、有効活用が見込める場合は協議・検討の上、再開するものとする。						前山小学校閉校に伴い、施設の休止を検討している施設である。今後、この施設を再開する場合は、有効活用できるかどうか協議・検討が必要である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	漁港管理事業
-----	--------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月2日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	4	(4) 水産業の振興
主要施策	①	① 漁業生産基盤の整備

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	15	水産業費
目	10	漁港管理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 市内11漁港区域内における施設の維持、保全並びに施設利用について、適切な管理、運営を図る。	漁港施設の円滑な利用を維持するため、継続的かつ適切な維持管理に努めていく。	計画額	0	0	1,944	9,425	11,369	—	—
			当初予算額	0	0	972	5,005	5,977		
			決算額	0	0	486	2,732	3,218		
H27	○漁港施設維持管理 ○漁港埋立地調査測量業務	漁港施設の修繕を実施し、適切な管理、運営を図るとともに、未登記の漁港について、調査測量の上、登記することで適切な管理を図った。	計画額	0	0	486	2,210	2,696	0.4	0.0
			当初予算額	0	0	486	2,210	2,696		
			決算額	0	0	486	2,732	3,218		
H28	○漁港施設維持管理 ○漁港埋立地調査測量業務		計画額	0	0	486	2,795	3,281		
			当初予算額	0	0	486	2,795	3,281		
			決算額							
H29	○漁港施設維持管理 ○漁港埋立地調査測量業務		計画額	0	0	486	2,210	2,696		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○漁港施設維持管理 ○漁港埋立地調査測量業務		計画額	0	0	486	2,210	2,696		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	修繕箇所数	施設の機能を維持するための年間の修繕箇所数を指標とする。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10
					実績値	9	実績値		実績値		実績値	
成果指標	漁港の登録漁船数	漁港に登録している漁船数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	隻	計画値	420	計画値	415	計画値	410	計画値	405
					実績値	420	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	19点 /25点	5点	3点	19点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点			3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	漁港施設の円滑な利用を維持するため、継続的かつ適切な維持管理に努めていく。						施設の円滑な利用を維持するため今後も継続していく必要があると思われる。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	水産基盤整備事業
-----	----------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月2日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	4	(4) 水産業の振興
主要施策	①	① 漁業生産基盤の整備

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	15	水産業費
目	15	漁港建設費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 水産物の生産、流通の拠点づくりを推進し、水産物の安定供給に資するため、漁場漁港施設を整備する。	漁港背後集落の安全、安心を確保するため、継続して漁港施設の適切な整備に努めていく。	計画額	166,945	74,100	1,531	12,122	254,698	—	—
			当初予算額	57,195	24,800	1,531	6,828	90,354		
			決算額	5,632	3,800	3,474	3,000	15,906		
H27	○県単独補助漁港整備事業1漁港(小田浦) ○水産物供給基盤機能保全調査事業4漁港(脇元、小田浦、白方、泊)	高潮・地震・津波対策等を図り、漁港背後集落の安全、安心を確保するとともに、漁港施設の機能保全を図り、施設の長寿命化を図った。	計画額	7,250	7,200	436	2,413	17,299	0.4	0.0
			当初予算額	7,250	7,200	436	2,413	17,299		
			決算額	5,632	3,800	3,474	3,000	15,906		
H28	○県単独補助漁港整備事業2漁港(小田浦、室沖) ○水産物供給基盤機能保全計画書作成事業2漁港(脇元、小田浦) ○地震・津波対策事業(脇元)		計画額	49,945	17,600	1,095	4,415	73,055		
			当初予算額	49,945	17,600	1,095	4,415	73,055		
			決算額							
H29	○県単独補助漁港整備事業1漁港(小田浦) ○水産物供給基盤機能保全計画書作成事業2漁港(白方、泊) ○地震・津波対策事業(脇元)		計画額	55,750	24,100	0	3,794	83,644		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○県単独補助漁港整備事業 ○地震・津波対策事業(脇元)		計画額	54,000	25,200	0	1,500	80,700		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	単独県費補助事業計画箇所数	漁港の整備及び高潮対策を実施する。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	箇所	計画値	2	計画値	2	計画値	1	計画値	1
					実績値	1	実績値		実績値		実績値	
成果指標	漁港の登録漁船数	漁港に登録している漁船数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	隻	計画値	420	計画値	415	計画値	410	計画値	405
					実績値	420	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	25点 /25点		5点	24点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点			5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点			4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点			5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点			5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
	理由						理由					
	漁港背後集落の安全、安心を確保するために、老朽化に伴う漁港施設の長寿命化を図るとともに、高潮・地震・津波対策を実施していくことは必要不可欠であることから、適切な事業の実施に努めていく。						漁港背後集落の安全、安心を確保するために、老朽化に伴う漁港施設の長寿命化を図るとともに、高潮・地震・津波対策を実施していくことは必要不可欠であることから、適切な事業の実施に努めていく。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	水産業振興事業①(水産資源関係)
-----	------------------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月2日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	4	(4) 水産業の振興
主要施策	②	②水産資源の確保と地産地消の推進

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	15	水産業費
目	05	水産業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 水産関係団体と連携し、種苗放流や栽培漁業を推進することにより、水産資源の維持増大に努める。また、水産食育教室や漁業体験活動を通して、水産物への理解と関心を高め、魚食の普及を推進する。	資源と漁獲量の減少、種苗供給の不安定、漁協の弱体化、漁業就業者の減少・高齢化など、厳しい現実に向き合っている中で、漁業生産の増大並びに漁業者の福祉の増進を図る。	計画額	400	0	0	14,193	14,593	—	—
			当初予算額	200	0	0	7,617	7,817		
			決算額	100	0	0	2,798	2,898		
H27	○漁村センター管理委託 ○香川県水産振興協会、栽培漁業事業化促進事業への負担金 ○各種水産振興事業への補助金(種苗放流事業、観光漁業事業等) ○水産振興基礎調査(水産振興のための海洋水質調査)	漁村センターを適切に維持管理し、各種事業への負担金、補助金を適切に執行し、漁業生産の増大を図った。また、海洋水質調査を実施し、今後の水産振興のあり方を検討した。	計画額	100	0	0	3,398	3,498	0.1	0.0
			当初予算額	100	0	0	3,178	3,278		
			決算額	100	0	0	2,798	2,898		
H28	具体的取組 ○漁村センター管理委託 ○香川県水産振興協会、栽培漁業事業化促進事業、水産多面的機能発揮対策地域協議会への負担金 ○各種水産振興事業への補助金(種苗放流事業、観光漁業事業等)		計画額	100	0	0	4,439	4,539		
			当初予算額	100	0	0	4,439	4,539		
			決算額							
H29	○漁村センター管理委託 ○香川県水産振興協会、栽培漁業事業化促進事業、水産多面的機能発揮対策地域協議会への負担金 ○各種水産振興事業への補助金(種苗放流事業、観光漁業事業等)		計画額	100	0	0	3,178	3,278		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○漁村センター管理委託 ○香川県水産振興協会、栽培漁業事業化促進事業、水産多面的機能発揮対策地域協議会への負担金 ○各種水産振興事業への補助金(種苗放流事業、観光漁業事業等)		計画額	100	0	0	3,178	3,278		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	水産振興対策事業交付件数	水産業の振興を図るため漁協が行う事業に補助金を交付した件数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	5	実績値		実績値		実績値	
成果指標	水産物の属人漁獲量	漁港の水産物の属人漁獲量の総トン数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	t	計画値	2,700	計画値	2,650	計画値	2,600	計画値	2,550
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2,744	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	21点 /25点	5点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点				3点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点				3点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点				5点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点				5点		
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	資源と漁獲量の減少、種苗供給の不安定、漁協の弱体化、漁業就業者の減少・高齢化など、厳しい現実に直面している中で、漁業生産の増大並びに漁業者の福祉の増進に努めていく。						漁業就業者の高齢化及び減少等厳しい現実に直面している中で、水産業振興に対し、必要な事業である。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	水産業振興事業②(漁業者関係)
-----	-----------------

担当課	農林水産課
-----	-------

記入日	平成28年5月2日
-----	-----------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	4	(4) 水産業の振興
主要施策	③	③経営体制の強化と担い手の確保

会計	01	一般会計
款	30	農林水産業費
項	15	水産業費
目	05	水産業振興費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	漁業者の財政基盤の強化を図るための支援を行うとともに、担い手の育成・確保のために、漁業経営の近代化や安定化など漁業者の経営環境向上のための支援を行う。	資源と漁獲量の減少、種苗供給の不安定、漁協の弱体化、漁業就業者の減少・高齢化など、厳しい現実に直面している中で、漁業者が将来にわたって安定した経営を維持・存続できる環境の整備を図る。	計画額	0	0	0	737	737	—	—
			当初予算額	0	0	0	385	385		
			決算額	0	0	0	181	181		
H27	○香川県地区小型船安全協会、東讃地域マリノベーション推進協議会への負担金 ○漁業者緊急支援資金利子補給金	協会への負担金を適切に執行し、漁業者緊急支援資金利子補給を実施し、漁業者の経営体制を支援した。 ※H28より東讃地域マリノベーション推進協議会負担金は予算計上しない。	計画額	0	0	0	220	220	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	220	220		
			決算額	0	0	0	181	181		
H28	○香川県地区小型船安全協会への負担金 ○漁業者緊急支援資金利子補給金		計画額	0	0	0	165	165		
			当初予算額	0	0	0	165	165		
			決算額							
H29	○香川県地区小型船安全協会への負担金 ○漁業者緊急支援資金利子補給金		計画額	0	0	0	185	185		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○香川県地区小型船安全協会への負担金 ○漁業者緊急支援資金利子補給金		計画額	0	0	0	167	167		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	漁業者緊急支援資金利子補給件数	市内の漁業者が将来にわたって安定した経営を維持・存続できる環境を整えるため、漁業者緊急支援資金の貸付けを行った融資機関に対し、漁業者緊急支援資金利子補給金を交付する。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	件	計画値	25	計画値	25	計画値	25	計画値	25
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	25	実績値		実績値		実績値	
成果指標	漁業協同組合の組合員数	市内の漁業協同組合の組合員数。	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	420	計画値	415	計画値	410	計画値	405
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	421	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
評価	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5点		5点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5点		5点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	資源と漁獲量の減少、種苗供給の不安定、漁協の弱体化、漁業就業者の減少・高齢化など、厳しい現実に直面している中で、市内の漁業者が将来にわたって安定した経営を維持・存続できる環境整備に努めていく。					漁業生産の増大並びに漁業者の福祉の増進を図るために有効であると思われる。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	津田松原維持管理事業
-----	------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	瀬戸内海国立公園及び県立公園に指定されている津田の松原の維持管理を行い、観光客の誘致を図ることを目的とした事業である。	施設内の維持管理業務を行うことで、来場者が再度訪れたいと思うような施設とする。	計画額	40,524	0	1,076	16,156	57,756	—	—
			当初予算額	20,624	0	585	7,935	29,144		
			決算額	10,599	0	341	3,939	14,879		
H27	公園内の松葉の清掃や草刈、公衆トイレの清掃など、公園内の維持管理業務のほか、塗装が薄くなっていた道の駅駐車場の区画線の再塗装や台風によって破損したベンチの改修を実施するなど、家族で公園を利用できるよう環境整備を行った。	道の駅の駐車場の区画線の再塗装を行い、観光客が道の駅を利用しやすい環境を整えた。今後、利用者が安心、安全に公園を利用できるように定期的な点検を行う。	計画額	10,599	0	269	4,039	14,907	0.2	0.0
			当初予算額	10,599	0	269	4,039	14,907		
			決算額	10,599	0	341	3,939	14,879		
H28	公園内の松葉の清掃や草刈、公衆トイレの清掃など、公園内の維持管理業務を行い、景観の保持に努める。また、七福神と称する7本の松の周辺に柵を設置する。		計画額	10,281	0	269	4,039	14,589		
			当初予算額	10,025	0	316	3,896	14,237		
			決算額							
H29	公園内の松葉の清掃や草刈、公衆トイレの清掃など、公園内の維持管理業務を行い、景観の保持に努める。		計画額	9,972	0	269	4,039	14,280		
			当初予算額							
			決算額							
H30	公園内の松葉の清掃や草刈、公衆トイレの清掃など、公園内の維持管理業務を行い、景観の保持に努める。		計画額	9,672	0	269	4,039	13,980		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動 指標	津田の松原関連広告数	津田の松原に係る観光雑誌等への無料広告数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10	
					実績値	19	実績値		実績値		実績値		
	修繕件数	施設に係る修繕件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
					実績値	9	実績値		実績値		実績値		
成果 指標	利用者数	施設利用者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	
					実績値	191,820	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	14点 /25点	3点	14点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	2点		2点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>琴林公園内施設については、ベンチや防護柵の老朽化が進行しており、公園内で設備の破損も発生している状況です。さぬき市は香川県から公園内の清掃業務等の業務委託を受け、維持管理を行っておりますが、園内改修工事等の施設整備事業については香川県が実施主体となっています。そのため、施設の安全衛生面や利便性の向上といったことについては、香川県との間で緊密に連携を取り、施設整備で何が必要とされるか、どの案件の優先順位が高いかなどの協議を進め、事業提案や改善を促すことが必要であると思われます。今後は、そのような働きかけを強めるとともに、施設利用者が再度訪れたいと思えるような環境整備に努めます。</p>						<p>当公園施設は、瀬戸内海国立公園及び県立公園に指定されている県内有数の景勝地であり、園内に群生する松は、樹齢が数百年となるものもある。そういった松の管理については、香川県が枯れ松の伐採、さぬき市が園内清掃といった形態で維持管理業務をおこなっているところである。担当者記載のとおり、園内施設老朽化についても、県との間で緊密な連携を取り対応することが求められているが、同時に園内の松についても、維持管理がおろそかになってしまうと、景観の悪化となるだけでなく、松によって人命が脅かされる危険性もあることから、より一層の連携を取ることで利用者の安全を確保する。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	大串自然公園管理事業
-----	------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 瀬戸内海国立公園内に位置し、市民の憩いの場であり、観光スポットである大串自然公園及びさぬき市野外音楽広場の維持管理を行い、本市の観光振興に寄与することを目的とする事業である。	大串自然公園の眺望を活かすため、周辺環境の整備を順次実施し、来場者へ安全と安心、そして快適な空間を提供する。	計画額	0	0	16,328	59,876	76,204	—	—
			当初予算額	0	0	5,438	23,656	29,094		
			決算額	2,000	0	1,683	12,796	16,479		
H27	宿泊施設の火災報知器をリニューアルし、来場者へ安全を提供したほか、共用部分に空調機を整備し、来場者の快適性を向上させた。また、来場者が気持ちよく景観を楽めるよう、野外音楽広場や芝生広場等の草刈、公衆トイレの清掃など維持管理に努めた。このほか、市町定住・交流促進事業としてピザ窯を設置し、市内外からの誘客効果を向上させた。	宿泊施設の火災報知器のリニューアルと共用部分の空調機整備が完了した。今後は恒常的に実施している維持管理業務の再点検を行い、事業の効率化を目指す。 ※市町定住・交流促進事業はH27年度単年事業	計画額	0	0	4,082	16,969	21,051	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	4,082	16,969	21,051		
			決算額	2,000	0	1,683	12,796	16,479		
H28	具体的取組 公園内で利用者に危険が及ぶ可能性がある場所の洗出を行い、危険の解消又は回避に向けた取り組みを行う。野外音楽広場や芝生広場等の草刈、公衆トイレの清掃など、恒常的に実施している、自然公園維持管理業務について、事業効果が高い効率で現れるよう事業の再点検を行う。		計画額	0	0	4,082	16,969	21,051		
			当初予算額	0	0	1,356	6,687	8,043		
			決算額							
H29	公園内で利用者に危険が及ぶ可能性がある場所の洗出を行い、危険の解消又は回避に向けた取り組みを行う。また、野外音楽広場や芝生広場等の草刈、公衆トイレの清掃など、恒常的に実施している、自然公園維持管理業務について、事業効果が高い効率で現れるよう前年事業の再点検を行う。		計画額	0	0	4,082	13,969	18,051		
			当初予算額							
			決算額							
H30	公園内で利用者に危険が及ぶ可能性がある場所の洗出を行い、危険の解消又は回避に向けた取り組みを行う。野外音楽広場や芝生広場等の草刈、公衆トイレの清掃など、恒常的に実施している、自然公園維持管理業務について、事業効果が高い効率で現れるよう前年事業の再点検を行う。		計画額	0	0	4,082	11,969	16,051		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	既存施設の修繕件数	公園機能の維持に着目し、修繕件数とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	6	計画値	6	計画値	6	計画値	6	
					実績値	4	実績値		実績値		実績値		
活動指標	大串自然公園関連広告数	無料広告を掲載することで、観光客の増加を目指すため、広告数とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	6	計画値	6	計画値	6	計画値	6	
					実績値	10	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用者数	公園利用者数を算出することで、市内外の観光施設との比較と推移結果から来場者数を把握し、これを誘客力の成果とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	30,000	計画値	30,000	計画値	30,000	計画値	30,000	
					実績値	15,485	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	17点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	公共施設及び設備の安全性と快適性に対して、利用者のニーズの質が年々向上して行くのに反し、実際の施設は老朽化が着実に進んでいます。老朽施設は何も手を打たなければ急激にその安全性を失って行くものであり、それは大串自然公園の施設についても同様です。課題に優先順位を設け、出来ることと出来ないことを精査し、それぞれに対処の方法を決定し、効率的に維持管理を実施して行きます。 また、野外音楽広場や芝生広場等の草刈については、誘客効果の高いイベント前に実施することで、来場者の施設に対するイメージを向上させ、公園内側溝の清掃は、台風などの自然条件を考慮し、適時に実施することで利用者の安全を確保して行きます。						大串自然公園は、その半島自体が瀬戸内海国立公園に位置し、観光資源としての価値を有していることから、これを継続的に維持管理していくことが重要であると共に、誘客を図るべき方策を取る必要がある。また、グリーンヒル大串、旧大串温泉及び児童館等半島にある施設については、建築後約30年が経過しており、その改修等については、重複投資などの手戻りが発生しないよう、今後、市のランドデザインを考えていくなかで、慎重に協議を重ね、計画的に進めていく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	亀鶴公園整備事業
-----	----------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)		
			国県支出金	地方債	その他	一般財源					
H27 H30	事業概要 県立公園に指定されている亀鶴公園を多くの観光客に利用してもらうために施設の維持管理を行う。 面積19ha ・桜の名所約200本 ・駐車場250台	県立公園に指定されている亀鶴公園の維持管理を行い、地元の行事やイベントを通して、多くの来園者に利用してもらえるような取り組みを行う。	計画額	18,563	0	0	9,588	28,151	—	—	
			当初予算額	9,904	0	0	5,556				15,460
			決算額	4,855	0	0	2,127				6,982
H27	亀鶴公園内の軽微な修繕を行う事で、利用者の安全性に配慮するとともに、伐採・除草・清掃作業を行い、景観を保ち、観光客が再度訪れたいと思うような公園づくりを実施した。花しょうぶ園の第3区画の土壌改良工事を行い、亀鶴公園の特徴である、花しょうぶの維持管理を行った。	・日常の清掃及び除草業務を通じて園内の衛生面、景観面での向上に努めた。・花しょうぶの出来が以前と比較し見劣りするものであったため、平成28年からは施肥を行うよう計画を立てた。	計画額	4,855	0	0	2,397	7,252	0.2	0.0	
			当初予算額	4,855	0	0	2,397				7,252
			決算額	4,855	0	0	2,127				6,982
H28	具体的取組 亀鶴公園内の軽微な修繕を行う事で、利用者の安全性に配慮するとともに、伐採・除草・清掃作業を行い、景観を保ち、観光客が再度訪れたいと思うような公園づくりを実施する。また、花しょうぶを3区画に分け、毎年1区画ごとに土壌改良工事を行うことで、亀鶴公園の特徴である花しょうぶの維持管理を行う。		計画額	4,709	0	0	2,397	7,106			
			当初予算額	5,049	0	0	3,159				8,208
			決算額								
H29	亀鶴公園内の軽微な修繕を行う事で、利用者の安全性に配慮するとともに、伐採・除草・清掃作業を行い、景観を保ち、観光客が再度訪れたいと思うような公園づくりを実施する。また、花しょうぶを3区画に分け、毎年1区画ごとに土壌改良工事を行うことで、亀鶴公園の特徴である花しょうぶの維持管理を行う。		計画額	4,568	0	0	2,397	6,965			
			当初予算額								
			決算額								
H30	亀鶴公園内の軽微な修繕を行う事で、利用者の安全性に配慮するとともに、伐採・除草・清掃作業を行い、景観を保ち、観光客が再度訪れたいと思うような公園づくりを実施する。また、花しょうぶを3区画に分け、毎年1区画ごとに土壌改良工事を行うことで、亀鶴公園の特徴である花しょうぶの維持管理を行う。		計画額	4,431	0	0	2,397	6,828			
			当初予算額								
			決算額								

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	広告回数	無料広告を掲載することで観光客の増加を目指す	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	15	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用者数	公園の利用者数を算出することで、類似施設との比較を行うことが可能となる	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	150,000	計画値	150,000	計画値	1,500,000	計画値	150,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	154,800	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	16点 /25点	4点	16点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	<p>県立亀鶴公園は、さぬき市を代表する公園で、池と花木の組み合わせが来園者に好評で、特に桜と花しょうぶが有名な公園であり、年に数回、地域住民によるイベントが開催されています。それだけに、施設の安全性の確保と花木の質を保つことが特に重要であると感じています。施設自体は老朽化が進んでいますが、香川県と協議をしながら、効率的な維持管理に努めてまいります。</p>						<p>亀鶴公園内の適切な維持管理をおこない、来園者が安全に、安心して、ゆっくりと快適な時間を過ごせる場所を提供している。本市の花木の名所地として、桜や花しょうぶの開花時期には、市内外から多くの人々が訪れている。老朽化するベンチや防護柵などの修繕を行うと共に、亀島の遊歩道沿いの落葉落枝の除去などについて、香川県との連携を密にし、なお一層の安全性の確保を図る必要がある。</p>						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	門入の郷維持管理事業
-----	------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)	事業費(千円)				担当職員数(人)		
				財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
H27 H30	門入の郷に訪れる多くの観光客に、自然豊かな癒しの場を提供する。 面積約10ha ・トイレ4箇所 ・芝生広場等 ・三重の滝	公共施設としての防災面や景観面を兼ね備えた門入の郷の良好な環境を維持していくための除草・清掃や修繕を行う。	計画額	0	0	20	23,128	23,148	—	—
			当初予算額	0	0	7	11,538	11,545		
			決算額	0	0	5	5,275	5,280		
H27	門入の郷の草刈・伐採・清掃作業を行い、景観保持に努めるとともに、施設に不備があれば、安全性を考慮して修繕を実施した。トイレの維持管理を定期的に行い、快適に過ごせるような公園づくりを目指した。また、使用されていない施設や場所に「立入禁止」の張り紙をすど、危険性をなくすための取り組みを行った。	・特に業務の改善はないが、引き続き限られた予算の中で公園環境を維持することに努め、より多くの観光客が訪れる公園を目指した。	計画額	0	0	5	5,782	5,787	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	5	5,782	5,787		
			決算額	0	0	5	5,275	5,280		
H28	門入の郷の草刈・伐採・清掃作業を行い、景観保持に努め、施設に不備があれば、安全性を考慮して修繕を実施する。トイレの維持管理も行い、散歩に訪れた人等が快適に過ごせるような公園づくりを実施する。		計画額	0	0	5	5,782	5,787		
			当初予算額	0	0	2	5,756	5,758		
			決算額							
H29	門入の郷の草刈・伐採・清掃作業を行い、景観保持に努め、施設に不備があれば、安全性を考慮して修繕を実施する。トイレの維持管理も行い、散歩に訪れた人等が快適に過ごせるような公園づくりを実施する。		計画額	0	0	5	5,782	5,787		
			当初予算額							
			決算額							
H30	門入の郷の草刈・伐採・清掃作業を行い、景観保持に努め、施設に不備があれば、安全性を考慮して修繕を実施する。トイレの維持管理も行い、散歩に訪れた人等が快適に過ごせるような公園づくりを実施する。		計画額	0	0	5	5,782	5,787		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	広告回数	無料広告を掲載することで、観光客の増加を目指す	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	3	計画値	3	計画値	3	計画値	3	
					実績値	3	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用者数	公園の利用者数を算出する事で、類似施設との比較を行うことが可能となる	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	55,000	計画値	55,000	計画値	55,000	計画値	55,000	
					実績値	59,409	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	15点 /25点	3点	16点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	門入の郷には、門入ブリッジをはじめ、椿の城や水辺の公園などの無料で利用できる施設が複数あり、夏にはキャンプや釣りを行う来場者が多く訪れています。一方で、野犬の出没、弁当箱や空き缶などのゴミの投棄といった課題も存在しています。今後は、来場者へ適切な施設の利用方法を周知して行き、来場者同士が、互いに安全かつ快適に施設を利用することが出来るような維持管理を進めていきたい。						門入の郷は、門入ブリッジを含め、約10haの公園が無料であることから、子どもからお年寄りまで多くの方が訪れている。しかし、その反面、ゴミ等の投棄が多く発生しているなどの問題もあることから来場者に対するマナー向上のための周知が必要である。また、芝生広場においては、バーベキュー等の利用が多く、火気使用に対する対応など、来場者への注意喚起や、環境保全に向けた検討が必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	みろく自然公園管理事業
-----	-------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 自然豊かなみろく公園に市内外の子どもから高齢者までが訪れる場を提供する。 面積約55ha ・球技場、球場、テニスコート等スポーツ施設 ・キャンプ場 ・イベントドーム等	日々の維持管理を効率的に行い、みろく自然公園の特徴である花木を多くの来園者に安全で快適に見てもらえるよう整備する。	計画額	0	0	33,387	45,075	78,462	—	—
			当初予算額	0	0	16,210	22,211	38,421		
			決算額	0	0	7,705	11,011	18,716		
H27	みろく自然公園管理計画に基づき、公園利用者の安全性や利便性を十分に考慮して修繕を行い、利用者が再び訪れたいと思えるような公園づくりを進めた。突発的な修繕として、みろく荘の高圧機器の動作不良が発覚したため、停電等を防ぐための修繕を実施した。	・公園管理人と連携し、年間を通して計画的に維持管理を行った。平成28年度も引き続き、公園管理計画に基づいて、利用者の安全性・利便性を考慮し、緊急度の高いものから修繕を実施して行く。	計画額	0	0	8,410	11,354	19,764	0.4	1.0
			当初予算額	0	0	8,410	11,354	19,764		
			決算額	0	0	7,705	11,011	18,716		
H28	具体的取組 ・施設の老朽化が進んでおり、みろく自然公園管理計画に基づきながら、維持管理を実施する。公園利用者の安全性や利便性を十分に考慮して修繕を行い、再び訪れたいと思えるような公園づくりを進める。		計画額	0	0	8,410	11,354	19,764		
			当初予算額	0	0	7,800	10,857	18,657		
			決算額							
H29	・施設の老朽化が進んでおり、みろく自然公園管理計画に基づきながら、維持管理を実施する。公園利用者の安全性や利便性を十分に考慮して修繕を行い、再び訪れたいと思えるような公園づくりを進める。		計画額	0	0	8,410	11,354	19,764		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・施設の老朽化が進んでおり、みろく自然公園管理計画に基づきながら、維持管理を実施する。公園利用者の安全性や利便性を十分に考慮して修繕を行い、再び訪れたいと思えるような公園づくりを進める。		計画額	0	0	8,157	11,013	19,170		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	環境整備	自然公園の特色を生かした環境整備を指標とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	m ³	計画値	500	計画値	500	計画値	500	計画値	500	
					実績値	500	実績値		実績値		実績値		
活動指標	広告回数	無料広告を掲載することで、観光客の増加を目指す	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5	
					実績値		実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用者数	公園利用者を計測することにより、公園整備の重点化が図れる	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	計画値	200,000	
					実績値	214,703	実績値		実績値		実績値		
成果指標			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	5点	18点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	みろく自然公園は、一年中花木が見られる公園であると同時に、野球場やサッカー場なども併設し、観光客に様々な癒しを提供しております。また、野外ステージやイベントドームでは、地域住民による桜まつりや夏まつりが開催され、毎年観光客で賑わっています。一方で、園内のアスレチック施設をはじめ、公園遊具も経年劣化が進み、不備が出てきている状況です。引き続き、来園者の安全を第一に考え、適時修繕に取り組むと共に、自然公園としての景観を保つよう、維持管理を実施します。						みろく自然公園は約55haの広大な敷地に数多くの施設が整備されており、市民はもとより、周辺市町村からも来訪され、憩いの場となっている。施設は設置以来、20年以上経過しており、修繕費が増大しているが、観光客の安全や設備の充実が必要である。平成26年度にみろく自然公園管理計画を策定したことから、優先順位の高い箇所から、順次改修を進めていく。また草刈、剪定などの維持管理は不可欠である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	道の駅管理事業
-----	---------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 道の駅において観光客が快適に利用できるよう指定管理者及び香川県と連携を図り本市の観光振興に寄与するための事業である。 道の駅「みろく」及び「ながお」	防災拠点や情報提供の場所、雇用の場所であったりと様々な機能が注目されている道の駅で、利用者が快適に利用できるように施設管理を行う。	計画額	0	0	7,756	37,672	45,428	—	—
			当初予算額	0	0	4,159	20,380	24,539		
			決算額	0	0	1,909	4,738	6,647		
H27	施設が老朽化しており、指定管理者や利用者に被害が及ばないための修繕を行うとともに、訪れた人が快適に利用できるような休息地としての道の駅づくりを実施した。国の充電インフラ整備事業の補助により、香川県と協議を重ね、道の駅2ヶ所に充電インフラを設置した。	・電気自動車利用者がどこでも安心して移動できるよう、2つの道の駅に充電設備を設置した。 ・平成28年度から道の駅みろくの運営方法を見直し、引き続き来駅者が快適に利用できる取組を実施していく。	計画額	0	0	1,939	9,418	11,357	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	1,939	9,418	11,357		
			決算額	0	0	1,909	4,738	6,647		
H28	施設が老朽化しており、指定管理者や利用者に被害が及ばないための修繕を行うとともに、訪れた人が快適に利用できるような休息地としての道の駅づくりを実施する。		計画額	0	0	1,939	9,418	11,357		
			当初予算額	0	0	2,220	10,962	13,182		
			決算額							
H29	施設が老朽化しており、指定管理者や利用者に被害が及ばないための修繕を行うとともに、訪れた人が快適に利用できるような休息地としての道の駅づくりを実施する。		計画額	0	0	1,939	9,418	11,357		
			当初予算額							
			決算額							
H30	施設が老朽化しており、指定管理者や利用者に被害が及ばないための修繕を行うとともに、訪れた人が快適に利用できるような休息地としての道の駅づくりを実施する。		計画額	0	0	1,939	9,418	11,357		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	巡回回数	現場の安全や利用状態を確認し、何かあれば対応することで、より良い道の駅づくりに役立てる	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 12	実績値 12	計画値 12	実績値	計画値 12	実績値	計画値 12	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
成果指標	利用者数	来駅者数を指標とすることで、ほかの類似施設との比較が可能となり、利用者の更なる増加を目指す	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 500,000	実績値 529,771	計画値 500,000	実績値	計画値 500,000	実績値	計画値 500,000	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	16点 /25点	4点	16点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	近年、道の駅では、地域の産業振興や防災拠点、インバウンド観光といった様々な機能が期待されてきております。その中で、市内の道の駅において、平成27年度に電気自動車用の充電設備やAEDを設置するなど、様々な取組を実施しておりますが、来駅者数の増加につながっていないことで、指定管理者も苦戦している状況です。引き続き、ニーズの把握に努め、集客につながる取組みを実施していくと共に、老朽化が進む施設の維持管理においても、適切に取組む必要があると考えています。						市内に整備された道の駅は、県内外からの観光客が訪れることから、快適かつ清潔な施設を提供している。電気自動車の充電設備の設置については、電気自動車の普及に対応するとともに、来場者増加に向けた方策として行ったものである。道の駅みろくにおいては、市民との連携が不可欠と考え、地元の食材を使った新商品の開発をめざし、地域住民との連携を図りながら事業効果を高めていく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	シーサイドコリドール維持管理事業
-----	------------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 瀬戸内海の素晴らしい景色を望むシーサイドコリドールのコテージ、オートキャンプサイト及び球技場の運営を行い、訪れる人に安らぎと憩いの場を提供するため、施設の維持管理を継続的に行うものである。	素晴らしい眺望にふさわしい施設敷地内の景観維持を目指すとともに、施設利用者に対する接遇の質を向上することで、リピーターの増加を期待するものである。	計画額	0	0	29,456	19,724	49,180	—	—
			当初予算額	0	0	15,369	8,128	23,497		
			決算額	0	0	8,816	3,101	11,917		
H27	シーサイドコリドールオートキャンプ場管理棟に勤務するスタッフの接遇の質を高めるため、接遇マニュアルを作成した。スタッフ全員が統一した接遇を行うことで、来場者が気持ちよく施設を利用し、リピーターとして、また口コミによる来場者の増加に期待したものである。	作成した接遇マニュアルに沿って講習会を行い、実践を経て、自己評価と他者評価を実施した。その後、評価結果を公表し、スタッフの責任感や使命感の向上を図った。	計画額	0	0	7,364	4,931	12,295	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	7,364	4,931	12,295		
			決算額	0	0	8,816	3,101	11,917		
H28	具体的取組 ・接遇マニュアルを活かして、業務にあたることで、スタッフ毎の受付業務の質にばらつきが出ないようにする。 ・施設敷地内の除草、芝刈り、剪定等の作業については、スタッフ間で調整しながら、景観維持に努める。		計画額	0	0	7,364	4,931	12,295		
			当初予算額	0	0	8,005	3,197	11,202		
			決算額							
H29	・接遇マニュアルを活かして、業務にあたることで、スタッフ毎の受付業務の質にばらつきが出ないようにする。 ・施設敷地内の除草、芝刈り、剪定等の作業については、スタッフ間で調整しながら、景観維持に努める。		計画額	0	0	7,364	4,931	12,295		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・接遇マニュアルを活かして、業務にあたることで、スタッフ毎の受付業務の質にばらつきが出ないようにする。 ・施設敷地内の除草、芝刈り、剪定等の作業については、スタッフ間で調整しながら、景観維持に努める。		計画額	0	0	7,364	4,931	12,295		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	シーサイドコリドール関連 広告回数	無料広告を掲載することで、観光客の増加を目指すため、広告数とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 6	実績値 6	計画値 6	実績値	計画値 6	実績値	計画値 6	実績値	
	既存施設の修繕件数	施設機能の維持に目し、修繕件数とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 6	実績値 6	計画値 6	実績値	計画値 6	実績値	計画値 6	実績値	
成果指標	施設利用者数	施設利用者数を算出することで、市内外の観光施設との比較と推移結果から来場者数を把握し、これを誘客力の成果とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値 7,000	実績値 7,900	計画値 7,000	実績値	計画値 7,000	実績値	計画値 7,000	実績値	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	17点 /25点	3点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	3点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	利用者とスタッフが良好な関係を築くこと、そして、景観を維持することが重要と考えます。近年はSNSの普及により、利用者の施設に対する評価の拡散が行われることから、一度ネガティブな情報が広まると、取り戻すのに相当な努力と時間を要することになります。言葉遣い一つで施設に対する印象が大きく変化するため、接遇の質の向上を進めるとともに、施設の景観を良好に保つため、スタッフの業務遂行能力を高いレベルで平準化して行きます。						シーサイドコリドールは、利用者の安全確保のため、継続的な維持管理に取り組んでいるが、整備後13年が経過した施設はメンテナンスが必要となる時期に差し掛かっている。今後は、コテージ等建屋のメンテナンス施行時期を見極め、オートキャンプサイト、球技場を含めた周辺環境の整備を着実に進めて行かなければならない。また、来場者への配慮の行き届いた施設にすることで、顧客を確保するとともに、天災などの危機に備えた取組を進めて行く必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	観光施設事業
-----	--------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 観光客が安全かつ快適に利用できるよう観光施設の維持管理を行うことを目的とした事業である。	観光施設の維持管理を行うことで、市内外から訪れた観光客の再訪を促すことを目的とする。	計画額	1,636	0	66,484	194,848	262,968	—	—
			当初予算額	842	0	33,287	78,911	113,040		
			決算額	407	0	16,656	48,773	65,836		
H27	産業資料館・山上公園・女体山公園・大窪寺南公衆便所・四国のみち・前山ダム公園・興津海水浴場・寺町公衆便所などの施設の維持管理業務を行い、施設の故障箇所に対しては、速やかに修繕を行う。	平成28年は逆打ちの年に当たり、当市に訪れる観光客の増加も見込まれるため、設備の故障箇所については修繕対応を行った。	計画額	409	0	16,621	48,712	65,742	0.5	0.0
			当初予算額	409	0	16,621	48,712	65,742		
			決算額	407	0	16,656	48,773	65,836		
H28	産業資料館・山上公園・女体山公園・大窪寺南公衆便所・四国のみち・前山ダム公園・興津海水浴場・寺町公衆便所などの施設の維持管理業務を行い、施設の故障箇所に対しては、速やかに修繕を行う。		計画額	409	0	16,621	48,712	65,742		
			当初予算額	433	0	16,666	30,199	47,298		
			決算額							
H29	産業資料館・山上公園・女体山公園・大窪寺南公衆便所・四国のみち・前山ダム公園・興津海水浴場・寺町公衆便所などの施設の維持管理業務を行い、施設の故障箇所に対しては、速やかに修繕を行う。		計画額	409	0	16,621	48,712	65,742		
			当初予算額							
			決算額							
H30	産業資料館・山上公園・女体山公園・大窪寺南公衆便所・四国のみち・前山ダム公園・興津海水浴場・寺町公衆便所などの施設の維持管理業務を行い、施設の故障箇所に対しては、速やかに修繕を行う。		計画額	409	0	16,621	48,712	65,742		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動指標	修繕件数	施設に係る修繕件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10	
					実績値	10	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用者数	該当施設の利用者数を算出する事で、どのくらいの人 が施設を利用しているか分かるため	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	440,000	計画値	440,000	計画値	440,000	計画値	440,000	
					実績値	447,900	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値		計画値		計画値		計画値		
					実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3点	13点 /25点	3点	13点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点		3点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点		2点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	2点		2点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	観光施設の老朽化により、設備の破損なども数多く発生している状況です。発生した際には、迅速に対応することとしていますが、定期的に施設の安全確認等を行うことにより、発生する被害を無くしたり減少させることは可能であると思います。近年、四国遍路は海外からも注目を浴び、今後、国内外問わず多くの観光客がさぬき市にも訪れる可能性があることから、施設の定期的な安全確認を行うことで、観光客の再訪を促すような環境整備に努めます。						現在、四国遍路については、国外の人でも興味があるといった人が増えており、今後、巡礼者が増加すれば、観光客の利用する公衆トイレといった施設なども利用回数も増加が見込まれる。その際に、施設の衛生環境が悪いということでは、今後も訪れたいという人の増加は見込めない。維持管理の内容は、修繕、消耗品管理など、目に見えて華やかな事業ではないが、今後、さぬき市が観光などで誘客を図る際には、必ず必要となる維持管理事業であることから、細かく施設の安全点検を行うことで、利用者が満足できるような環境を整える。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	温泉施設管理事業
-----	----------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	20	温泉費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市内温泉施設6箇所や道の駅津田の松原を管理・運営することにより、観光施設の充実、地域住民とのふれあいによる地域活性化を図る。 ・カメリア温泉・ゆーとびあみろく温泉・春日温泉・クアタラソ津田・クアパーク津田・ツインパルながお	市内6ヶ所の温泉施設の運営を指定管理者に委託し、より多くの人々が快適に利用でき、再度訪れてもらえるための施設管理を行う。	計画額	0	0	0	267,144	267,144	—	—
			当初予算額	0	0	14,500	152,466	166,966		
			決算額	0	0	14,500	51,580	66,080		
H27	市内6ヶ所の温泉施設について、利用者の安全性や利便性を考慮し、優先順位をつけて修繕を実施した。平成27年度から、さぬき市SA公社の指定管理料を増額し、指定管理者が効率よく営業できるように事業を進めた。	・温泉施設の安全性や利便性を考慮しながら修繕を行った。・クアパーク津田、クアタラソさぬき津田、道の駅の指定管理期間が終了し、新たに指定管理の契約を締結した。	計画額	0	0	0	66,086	66,086	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	0	66,086	66,086		
			決算額	0	0	14,500	51,580	66,080		
H28	市内6ヶ所の温泉施設について、施設の老朽化により、不具合が生じるものが出てきているため、利用者の安全性や利便性を考慮し、優先順位をつけて工事・修繕を実施する。		計画額	0	0	0	66,086	66,086		
			当初予算額	0	0	14,500	86,380	100,880		
			決算額							
H29	市内6ヶ所の温泉施設について、施設の老朽化により、不具合が生じるものが出てきているため、利用者の安全性や利便性を考慮し、優先順位をつけて工事・修繕を実施する。		計画額	0	0	0	67,486	67,486		
			当初予算額							
			決算額							
H30	市内6ヶ所の温泉施設について、施設の老朽化により、不具合が生じるものが出てきているため、利用者の安全性や利便性を考慮し、優先順位をつけて工事・修繕を実施する。		計画額	0	0	0	67,486	67,486		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	修繕件数	温泉施設の安全性・利便性に着目し、修繕件数を指標とする	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	13	実績値		実績値		実績値		
成果指標	利用者数	温泉の利用者数を算出することで、類似施設との比較を行うことが可能となる	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	300,000	計画値	300,000	計画値	300,000	計画値	300,000	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	299,471	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	3点	16点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	市内6ヶ所の温泉施設について、指定管理制度を活用し、カメラ温泉は地元の株式会社門入カメラへ、残り5ヶ所はさぬき市SA公社へ運営を委託しています。利用者のニーズを考慮し、集客につながる施策を実施するとともに、施設の経年劣化により、機械の故障や天井から雨漏りがしたりと、躯体の修繕が必要となる項目も生じてきている状況です。その中で修繕実施項目の優先順位を明らかにすることが重要であります。また、今後は指定管理期間が満了となる施設も出てきますので、より良い運営方法を検討しながら、施設管理を進めていきたいと考えております。						温泉施設については、指定管理制度を活用し、指定管理者とともに、さまざまな企画を考え、集客増加を行っている。しかしながら、各温泉施設の老朽化により、毎年、修繕費等のランニングコストが増している。そのため、全体的な温泉施設の在り方について、検討が必要である。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	観光事業特別会計
-----	----------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	55	観光事業特別会計
款		
項		
目		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 クアパーク津田の施設の管理上必要な維持管理業務を行う。	施設の維持管理を適切に行うことにより、観光客が安心、安全に利用できるように環境を整える。	計画額	0	0	0	121,000	121,000	—	—
			当初予算額	0	0	0	102,600	102,600		
			決算額	0	0	0	60,433	60,433		
H27	クアパーク津田の施設の管理上必要な維持管理業務を行う。	宿泊施設として適切に運営できるように施設の管理運営上必要な維持管理業務を行った。	計画額	0	0	0	60,500	60,500	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	60,500	60,500		
			決算額	0	0	0	60,433	60,433		
H28	具体的取組 クアパーク津田の施設の管理上必要な維持管理業務を行う。 ※28年度で償還終了のため、当特別会計を継続するか、閉鎖し、29年度より、一般会計の温泉施設管理事業に移管するか検討をしている。		計画額	0	0	0	60,500	60,500		
			当初予算額	0	0	0	42,100	42,100		
			決算額							
H29	クアパーク津田の施設の管理上必要な維持管理業務を行う。 ※28年度で償還終了のため、当特別会計を継続するか、閉鎖し、29年度より、一般会計の温泉施設管理事業に移管するか検討をしている。		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							
H30	クアパーク津田の施設の管理上必要な維持管理業務を行う。 ※28年度で償還終了のため、当特別会計を継続するか、閉鎖し、29年度より、一般会計の温泉施設管理事業に移管するか検討をしている。		計画額	0	0	0	0	0		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	巡回回数	施設巡回回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12
					実績値	12	実績値		実績値		実績値	
成果指標	利用者数	該当施設の利用者数を算出する事で、どのくらいの方が施設を利用しているか分かるため	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000
					実績値	21,343	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	2点	12点 /25点	3点	2点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	3点			3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3点			4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	1点			1点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点			3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止						○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ● 統合・廃止					
理由	近年、夏に津田の松原を訪れる海水浴客は年々減少傾向にあります。平成26年からはビーチラグビー大会も開催され、県内外からの観光客の増加に向けた取り組みも始まっており、そのような方の宿泊施設としてクアパーク津田はよく利用されている状況です。当施設は、指定管理者制度を利用し、さぬき市SA公社にて管理運営を行っていますが、より多くの観光客の宿泊施設として活用していただくために、指定管理者と連携し、安全面、衛生面ともに施設の維持管理をこれまで以上に適切に行ってまいります。なお、観光事業特別会計につきましては、平成28年度末で起債の償還が終了することから、当特別会計を継続するか、廃止し、一般会計の温泉施設管理事業へ移管をするかの検討をしています。						クアパーク津田は、県内有数の観光地である津田の松原海水浴場に面した宿泊施設であり、県内外から多くの観光客の利用がある施設である。クアパーク津田に関しては、さぬき市SA公社において管理運営を行っており、平成28年度末の施設に係る起債の償還完了により、当特別会計を継続するか、廃止し、一般会計の温泉施設管理事業へ移管するかを検討している。温泉施設管理事業へ当施設の維持管理事業を移管することになれば、SA公社が指定管理にて管理運営を行っている他の温泉施設と同一事業内で効率的な維持管理業務を行えると考えている。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	観光協会事務局事業(観光振興対策関係)
-----	---------------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	①	① 魅力ある観光振興対策の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	<p>県、市、市観光協会及び市商工会と連携して、観光事業の充実、本市への誘致宣伝を図り地域の活性化を行うことを目的とした事業である。</p>	<p>県、市、市観光協会及び市商工会と連携して、観光事業の充実、本市への誘致宣伝を図り地域の活性化を行うことを目的とする。</p>	計画額	0	0	96,348	23,169	119,517	—	—
			当初予算額	0	0	48,463	11,446	59,909		
			決算額	0	0	26,925	3,100	30,025		
H27	<p>さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行った。興津海水浴場管理。津田の松原美化清掃委託。おへんろつかさ養成講座全7回実施。39団体(イベント・地域行事)へ助成。 ※事業費は観光協会事業「観光宣伝事業」経費は除く。</p>	<p>施設管理や大串半島の遺跡、史跡の案内看板を設置した。各イベント行事への助成を行い、今後は観光対策として必要な事業であるかどうか、関係団体と協議しながらよりよい観光振興対策の推進を進めていく。</p>	計画額	0	0	24,087	6,003	30,090	0.3	0.0
			当初予算額	0	0	24,087	6,003	30,090		
			決算額	0	0	26,925	3,100	30,025		
H28	<p>さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。</p>		計画額	0	0	24,087	5,722	29,809		
			当初予算額	0	0	24,376	5,443	29,819		
			決算額							
H29	<p>さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。</p>		計画額	0	0	24,087	5,722	29,809		
			当初予算額							
			決算額							
H30	<p>さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。</p>		計画額	0	0	24,087	5,722	29,809		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	観光協会会員数	観光協会会員の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	360	計画値	380	計画値	380	計画値	380	
					実績値	354	実績値		実績値		実績値		
成果指標	観光地入込客数	市内の観光地、施設等に訪れた人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	千人	計画値	4,500	計画値	4,500	計画値	4,500	計画値	4,500	
					実績値	4,397	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	17点 /25点	5点	18点 /25点				
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点							3点
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点							5点
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	2点							2点
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点							3点
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)							
	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ○ 現状維持 ● 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止							
理由	観光協会の事業として、合併以前から続いているイベントや行事に対しての助成を中心に行っており、地域の活性化に大きく寄与していると考えられます。その一方で、市民団体から似たようなイベントが多く、統合できないかといった意見もでていて、平成29年度は事業費の削減が想定されることから、今後のイベントのあり方を検討する必要があると思います。また、助成している行事の中には地元に着したのも多くあり、なかなか市外の人へPRできていないように思います。今後は市外へも目を向け、交流人口の増加を意識した観光振興対策の検討が必要だと感じます。					平成27年度は観光振興対策の推進として交流人口の増加を視野に入れ、観光協会と今後の方向性について協議を行ってきたが、既存のイベントをどうするか、また、新たに何をやるかなどの議論に至らなかった。また、各行事の実施主体は地元のボランティアの方がほとんどで地域の活性化にも寄与していることから、具体的な統廃合の動きがみられなかった。次年度以降市の財源が減少する中で、平成29年度は事業費の削減が想定されるため、現在助成している額を削減する必要があるが、助成金が減少すれば実施できない行事がほとんどであることから、引き続き事業効果を検証しながら精査していく。また、事業のほとんどがイベント行事への助成で構成されており、市外へ向けた情報発信や企画等を活発に行うべく、観光協会本来のあるべき姿を考えながら、今一度協議していく必要がある。							

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	観光事業
-----	------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	②	②国内外に向けた観光PRの強化

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 観光客の増加を目的に宣伝活動等を実施する。	観光客の増加を目的に宣伝活動等を実施する。	計画額	0	0	0	19,768	19,768	—	—
			当初予算額	0	0	0	11,123	11,123		
			決算額	7,668	0	0	3,932	11,600		
H27	○観光宣伝事業(さぬき市知名度向上プロモーション事業、雑誌等各媒体へ広告掲載、観光PRグッズ作成) ○美しい花のまちづくり推進事業 ○さぬき市冬のうまいもんまつり実施 ○地域体験ツアー(香川県労働者福祉協議会) ○俵札研究事業補助金交付	県内外へPRをするため、ラジオやブログ、SNS等を活用し、知名度向上プロモーション事業を実施。また、当市の観光コンテンツを活用した地域体験ツアー、瀬戸内モニターガールの起用等新たな取組を実施した。	計画額	0	0	0	4,942	4,942	0.6	0.1
			当初予算額	0	0	0	4,942	4,942		
			決算額	7,668	0	0	3,932	11,600		
H28	○観光宣伝事業(さぬき市知名度向上プロモーション事業、雑誌等各媒体へ広告掲載、観光PRグッズ作成) ○美しい花のまちづくり推進事業 ○さぬき市冬のうまいもんまつり実施 ○地域体験ツアー(香川県労働者福祉協議会)		計画額	0	0	0	4,942	4,942		
			当初予算額	0	0	0	6,181	6,181		
			決算額							
H29	○観光宣伝事業 ○美しい花のまちづくり推進事業 ○さぬき市冬のうまいもんまつり実施		計画額	0	0	0	4,942	4,942		
			当初予算額							
			決算額							
H30	○観光宣伝事業 ○美しい花のまちづくり推進事業 ○さぬき市冬のうまいもんまつり実施		計画額	0	0	0	4,942	4,942		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	テレビ、ラジオ、雑誌等への出演、掲載回数	さぬき市をPRするため、各メディアに出演、掲載した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 80	実績値 88	計画値 80	実績値	計画値 80	実績値	計画値 80	実績値
	着地型旅行商品の開発総数	地域性の強い観光資源をもとにした観光コンテンツの総数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	個	計画値 10	実績値 8	計画値 15	実績値	計画値 20	実績値	計画値 20	実績値
成果指標	観光地入込客数	市内の観光地、施設等に訪れた人の数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	千人	計画値 4,500	実績値 4,397	計画値 4,500	実績値	計画値 4,500	実績値	計画値 4,500	実績値
	さぬき市観光協会ホームページアクセス数	さぬき市観光協会ホームページ「さぬき市観光ガイド」へアクセスされた回数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値 45,000	実績値 39,126	計画値 45,000	実績値	計画値 45,000	実績値	計画値 45,000	実績値
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点	3点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)					
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					
理由	平成27年度は、以前から続けているコスモスの面的栽培の奨励補助や当市の特産物を味わううまいものまつりの開催、FM香川によるラジオ・ブログ・SNS等を活用した知名度向上プロモーション事業だけでなく、知名度向上プロモーション事業の中で地元の達人によるワークショップの開催や労働者福祉協議会主催地域体験ツアー、百十四銀行と連携し瀬戸内モニターガールを活用したモニタリングツアー等を通し、当市でしかできない体験や味覚、地元の方が前線に立ってのガイド等の着地型観光に着目した観光コンテンツの提供を行いました。着地型観光については、平成27年度より香川県観光協会が主体となり実施している「香川県せとうちアート観光圏」でも行われる動きがあり、当市としても引き続き行うことで、広域性のある観光の推進、相互性や相乗効果による交流人口の増加といったものが望めるのではないかと考えています。						国内外へのPRとして、パンフレットだけでなく、ラジオ・ブログ・SMSといった各媒体を活用した観光PR活動を行うことで、世代間のニーズに合わせた情報発信ができていると考えるが、その一方で平成27年度訪問者数が下降気味であったのは、例えば、平成28年1月から始まった「逆打ち遍路」の事前PRの不足等が考えられることから、今後は先を見据えた対策を行う必要がある。 また、目的の多様化した旅行者が増加する中、地域の特色を生かした“ここにしかないもの”を売りにターゲットを絞ったPRをすることで、新規来訪者の確保だけでなく、リピーターの増加につながると考えることから、着地型観光に引き続き視点を当て、関係機関との連携を図りながら対策を練っていく。					

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	観光協会事務局事業(観光PR関係)
-----	-------------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	②	②国内外に向けた観光PRの強化

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)				担当職員数(人)			
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	県、市、市観光協会及び市商工会と連携して、観光事業の充実、本市への誘致宣伝を図り地域の活性化を行うことを目的とした事業である。 ※「観光協会事務局事業②③」事業費再掲	県、市、市観光協会及び市商工会と連携して、観光事業の充実、本市への誘致宣伝を図り地域の活性化を行うことを目的とした事業である。	計画額	0	0	0	9,752	9,752	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,092	5,092		
			決算額	0	0	0	2,570	2,570		
H27	さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行った。 観光パンフレット及び観光PR用グッズ制作 さぬき市観光協会ホームページの更新 5団体へ助成 食の大博覧会へ観光PRブース出展	高松市で開催された県内最大の食イベントへPRブースの出展した。また、H28年度に行われる四国DC全体会議やミュージカル源内全国公演へ向けて、新たにパンフレットとPRグッズを作成した。	計画額	0	0	0	2,582	2,582	0.2	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,582	2,582		
			決算額	0	0	0	2,570	2,570		
H28	さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。 (観光パンフレット及び観光PR用グッズ制作。さぬき市観光協会ホームページの更新。5団体へ助成。四国DC、ミュージカル源内全国公演等観光PRブース出展)		計画額	0	0	0	2,390	2,390		
			当初予算額	0	0	0	2,510	2,510		
			決算額							
H29	さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。		計画額	0	0	0	2,390	2,390		
			当初予算額							
			決算額							
H30	さぬき市の観光振興及び市経済発展のため、さぬき市観光協会が実施する事業費への助成を行う。		計画額	0	0	0	2,390	2,390		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動 指標	県内外観光PRブース出展回数	観光PRを目的としたブースを出展した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	1	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
	観光パンフレット及び観光PRグッズ等配布数	各施設やイベント等に配布した観光パンフレット及び観光PRグッズの部数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	部	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	
成果 指標	観光地入込客数	市内の観光地、施設等に訪れた人の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	千人	計画値	4,500	計画値	4,500	計画値	4,500	計画値	4,500	
	さぬき市観光協会ホームページアクセス数	さぬき市観光協会ホームページ「さぬき市観光ガイド」へアクセスされた回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	45,000	計画値	45,000	計画値	45,000	計画値	45,000	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	19点 /25点	5点	20点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		3点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	観光協会の事業の中で、市外への観光宣伝活動として、観光PRブースの出展やパンフレット・グッズを作成、配布、ウェブ上での情報発信等を行っています。今後もそういった情報発信をする一方、最新の写真や店舗情報、PRブース出展の際の当市らしい商品等の情報収集をする必要があると考えます。						交流人口の増加を図るには「まずは知ってもらうところから」の取っ掛かりが必要であるため、積極的なPR活動が望まれる。平成27年度については、最新の情報を含めた総合的なパンフレットを新たに作成した。また、平成28年度行われるミュージカル源内全国公演等では、大阪公演の会場内で本誌の観光PRが行えるよう主催者とも調整した。今後は、最新の情報を収集しながら訪問者に何が望まれているのかを考え、県内外での広報活動や電話での丁寧な情報提供を行う必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	観光協会事務局事業(広域観光連携関係)
-----	---------------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	5	(5) 観光の振興
主要施策	③	③ 広域観光連携の推進

会計	01	一般会計
款	35	商工費
項	05	商工費
目	15	観光費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	県、市、市観光協会及び市商工会と連携して、観光事業の充実、本市への誘致宣伝を図り地域の活性化を行うことを目的とした事業である。 ※「観光協会事務局事業②③」事業費再掲	県、市、市観光協会及び市商工会と連携して、観光事業の充実、本市への誘致宣伝を図り地域の活性化を行うことを目的とした事業である。	計画額	0	0	0	9,752	9,752	—	—
			当初予算額	0	0	0	5,092	5,092		
			決算額	0	0	0	2,570	2,570		
H27	広域的にPRできる観光プランを充実させるため、瀬戸・高松広域定住自立圏事業を活用し、ジオサイト船の旅(東讃ジオサイトツアー)を実施したほか、「ぶち旅プラン」に掲載できるコース作成に取組んだ。	「ジオサイト船の旅」と題して志度～引田間の瀬戸内海と大自然を活用したジオサイトツアーを実施したものの、「ぶち旅プラン」への掲載までには至らなかった。今後も積極的なPRを行う。	計画額	0	0	0	2,582	2,582	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	0	2,582	2,582		
			決算額	0	0	0	2,570	2,570		
H28	広域的にPRできる観光プランを充実させる。 瀬戸・高松広域定住自立圏事業を活用し、「ぶち旅プラン」に掲載できるコースを作成する。		計画額	0	0	0	2,390	2,390		
			当初予算額	0	0	0	2,510	2,510		
			決算額							
H29	広域的にPRできる観光プランを充実させる。 瀬戸・高松広域定住自立圏事業を活用し、「ぶち旅プラン」に掲載できるコースを作成する。		計画額	0	0	0	2,390	2,390		
			当初予算額							
			決算額							
H30	広域的にPRできる観光プランを充実させる。 瀬戸・高松広域定住自立圏事業を活用し、「ぶち旅プラン」に掲載できるコースを作成する。		計画額	0	0	0	2,390	2,390		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値		計画値		計画値		計画値		
活動 指標	モデルコース数	ホームページや観光パンフレット等で公表しているモデルコース数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	コース	計画値	10	計画値	10	計画値	10	計画値	10	
					実績値	9	実績値		実績値		実績値		
活動 指標	観光パンフレット及び観光PRグッズ等配布数	各施設やイベント等に配布した観光パンフレット及び観光PRグッズの部数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	部	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	計画値	20,000	
					実績値	19,636	実績値		実績値		実績値		
成果 指標	観光地入込客数	市内の観光地、施設等に訪れた人の数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	千人	計画値	4,500	計画値	4,500	計画値	4,500	計画値	4,500	
					実績値	4,397	実績値		実績値		実績値		
成果 指標	ぶち旅プラン掲載数	瀬戸・高松広域定住自立圏事業を活用し、「ぶち旅プラン」に掲載された回数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
					実績値	0	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の上昇が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の 方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	広域観光連携の推進として、市内または高松市から当市にかけてのモデルコースを展開、提供することで県外から来る観光客が中心市街地から来訪しやすくなり、誘客が図れると考えられるため、継続して実施していくことが必要だと考えます。平成27年度においては、高松観光コンベンション・ビューローが発行する「ぶち旅プラン」への掲載はありませんでしたが、今後は積極的な情報提供を行ってまいります。						全国的にも広域的な観光連携は広まっており、各エリアで誘客をつめる観光事業が行われている。県内においても、従来より行われている瀬戸・高松広域定住自立圏事業の一環である「ぶち旅プラン」だけでなく、市町の境を越えた観光が望まれていることから、今後は近隣市町や県と連携を図りながら、新しいメニューを検討していく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	地域就職サポートセンター事業
-----	----------------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	6	(6) 雇用の場の確保と労働環境の充実
主要施策	①	① 就労支援の充実

会計	01	一般会計
款	25	労働費
項	05	労働費
目	05	労働諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	市民やUターン希望者などを対象に、市内並びに近隣市町の事業所への就職あっせん業務のほか、就職相談や求人情報の公開を行う。	市民やUターン希望者などを対象に就職あっせん等を行うことにより、若年層の定住促進、市内事業所の人材確保、市民の雇用拡大を図る。	計画額	0	0	0	12,846	12,846	—	—
			当初予算額	0	0	0	3,420	3,420		
			決算額	2,883	0	0	204	3,087		
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・求人者と求職者のマッチング、求職者への求人紹介 ・企業訪問による求人開拓 ・就職関連イベントへの参加 等 ※紹介状発行件数84件 ※採用内定者数14人 ※登録事業所数 187事業所(3月末) ※求人数 423人(3月末)	平成28年度より徳島文理大学香川校の学生を対象とした出張就職相談や職場見学バスツアーを実施するなど、学生の就職支援を強化することとした。	計画額	0	0	0	3,420	3,420	0.2	1.1
			当初予算額	0	0	0	3,420	3,420		
			決算額	2,883	0	0	204	3,087		
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・求人者と求職者のマッチング、求職者への求人紹介 ・企業訪問による求人開拓 ・就職関連イベントへの参加及び実施 等 	※平成28年度については、平成27年度補正予算計上分を全額繰越したことから当初予算額を「0」としている。	計画額	0	0	0	3,142	3,142		
			当初予算額	0	0	0	0	0		
			決算額							
H29	<ul style="list-style-type: none"> ・求人者と求職者のマッチング、求職者への求人紹介 ・企業訪問による求人開拓 ・就職関連イベントへの参加及び実施 等 		計画額	0	0	0	3,142	3,142		
			当初予算額							
			決算額							
H30	<ul style="list-style-type: none"> ・求人者と求職者のマッチング、求職者への求人紹介 ・企業訪問による求人開拓 ・就職関連イベントへの参加及び実施 等 		計画額	0	0	0	3,142	3,142		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値		計画値		計画値		計画値	
活動指標	就職面接会等のイベントに参加した回数	地域就職サポートセンター及び市内企業等をPRするために、香川県などが開催する就職面接会等のイベントに参加した回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	7	計画値	7	計画値	7	計画値	7
					実績値	7	実績値		実績値		実績値	
成果指標	地域就職サポートセンターのマッチングにより就職した人数	地域就職サポートセンターのマッチングにより就職した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	14	計画値	16	計画値	18	計画値	20
					実績値	14	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	21点 /25点			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)				1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか				1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点				
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止					○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	本市においては、若年層の定住促進、市内事業所の人材確保、市民の雇用拡大等を図ることを目的に、平成26年8月に「さぬき市地域就職サポートセンター」を開設し、初年度は12名、平成27年度は14名が当センターのマッチングにより就職に結びつきました。しかし、求職者が希望する職種の求人が少ないなど、求職ニーズと求人ニーズのズレによる“雇用のミスマッチ”が多くみられ対応に苦慮するケースも珍しくない状況となりました。このようなことから、求職者のニーズに沿った求人開拓を一層進めていかなければならないと感じております。また、当センターをPRし、ご利用いただくために音声告知放送やスーパー等にポスターを掲示するとともに、香川県などが開催する就職面接会等にブースを出展するなどPRに努めた結果、平成27年度の新規求職登録者数は80名となり、PR活動の成果の表れではないかと思っております。今後も、魅力ある求人の発掘、PR活動の強化などを進めるものの、基本的な部分については現状を維持したいと考えております。					2年目を迎えた「さぬき市地域就職サポートセンター」は、音声告知放送やポスター掲示等によるPRの効果もあって新規求職登録者が増加するなど、認知度の向上がみられるものの、相談者が皆無の日があるなど、依然として情報発信に課題を残している。今後は、市民に対してハローワークとの大きな違いである職場見学などを採り入れた「きめ細やかなサポート」をPRするとともに、求職者のニーズに沿った魅力ある求人開拓を進めるなど、存在感を高めていきたい。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	労働諸費事業
-----	--------

担当課	商工観光課
-----	-------

記入日	平成28年5月20日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	6	(6) 雇用の場の確保と労働環境の充実
主要施策	②	②働き続けられる労働環境の充実

会計	01	一般会計
款	25	労働費
項	05	労働費
目	05	労働諸費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	労働者の雇用の安定と地位向上及び市内の労働力確保につなげるために関係団体への助成を行う。また、四国労働金庫に資金を預託することにより、福祉、住宅資金等の低金利融資を支援する。	労働者の保護と地位向上、福利厚生面の向上を図る。	計画額	0	0	224,000	3,876	227,876	—	—
			当初予算額	0	0	112,000	1,906	113,906		
			決算額	0	0	56,000	968	56,968		
H27	・労働基準協会大川支部への助成・東さぬきJSCへの助成・四国労働金庫への資金預託	特に改善はないが、従来通り労働環境整備に努めた。	計画額	0	0	56,000	969	56,969	0.1	0.0
			当初予算額	0	0	56,000	969	56,969		
			決算額	0	0	56,000	968	56,968		
H28	・労働基準協会大川支部への助成・東さぬきJSCへの助成・四国労働金庫への資金預託		計画額	0	0	56,000	969	56,969		
			当初予算額	0	0	56,000	937	56,937		
			決算額							
H29	・労働基準協会大川支部への助成・東さぬきJSCへの助成・四国労働金庫への資金預託		計画額	0	0	56,000	969	56,969		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・労働基準協会大川支部への助成・東さぬきJSCへの助成・四国労働金庫への資金預託		計画額	0	0	56,000	969	56,969		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30	
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
活動指標	東さぬきJSCによる雇用に関する研修会、説明会等の開催回数	市民の就労支援や市内事業所の人材確保を目的に開催される研修や説明会の開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	5	計画値	5	計画値	5	計画値	5
					実績値	5	実績値		実績値		実績値	
成果指標	地域就職サポートセンターのマッチングにより就職した人数	地域就職サポートセンターのマッチングにより就職した人数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	14	計画値	16	計画値	18	計画値	20
					実績値	14	実績値		実績値		実績値	
評価	チェック項目(1~5点で評価)					一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	20点 /25点	4点	20点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)					1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	4点		4点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか					1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	4点		4点			
今後の方向性	一次評価(担当者)					二次評価(所属長)						
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	労働者の雇用の安定と地位向上及び市内の労働力確保につなげるために活動を行っている関係団体へ財政支援を行うことは、地場産業の振興はもとより、地域社会の発展に大いに寄与するものであります。また、四国労働金庫へ市から資金預託を行うことについては、これを通じて勤労者の生活融資、住宅融資、災害特別融資など勤労者の生活向上に一定の役割を果たしております。これらのことから、今後も現状の財政支援や資金預託を継続していく必要があるものと考えます。					香川労働基準協会大川支部や東さぬきJSCの労務管理の改善、労働災害の防止、労働力確保等に関する活発な事業展開は、地域の発展に大いに貢献しているものであり、引き続き財政支援を行っていく必要がある。また、四国労働金庫への資金預託についても、地域勤労者から好評を得ているものであり、引き続き取組んでいく必要がある。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	定住促進事業①(移住促進関係)
-----	-----------------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	7	(7) 定住促進対策
主要施策	①	① 移住・二地域居住の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託 等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	移住希望者が市内での暮らしを体験できる「移住体験ハウス」の設置・運営をはじめ、香川県移住交流推進協議会への参加等とおして移住交流施策を推進する。	人口減少局面にある本市において、活力ある持続可能な自治体であり続けるために不可欠な要素である移住・二地域居住者を増加させることを目指す事業である。	計画額	2,000	0	1,633	14,360	17,993	—	—
			当初予算額	1,000	0	778	4,934	6,712		
			決算額	78	0	438	1,906	2,422		
H27	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県移住フェア参加(2回 東京都、大阪府) ・香川県移住者交流会参加(1回 東かがわ市) ・さぬき暮らし体験ツアー開催(1回 28年2月) ・移住体験ハウス開設(27年10月) ・移住体験ハウス運営(利用者6組 63日) 	本市への移住を促進するため、香川県主催の移住フェアにブースを出展したほか、市独自の移住体験ツアーを実施した。また、東讃地区では初めてとなる移住体験施設を津田町に開設し、運用を開始した。	計画額	1,000	0	433	3,560	4,993	0.4	0.0
			当初予算額	1,000	0	433	3,560	4,993		
			決算額	78	0	438	1,906	2,422		
H28	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県移住フェア参加(2回 東京都、大阪府) ・香川県移住者交流会参加(1回 東かがわ市) ・さぬき暮らし体験ツアー開催(1回) ・移住体験ハウス運営(利用日数 200日) ・移住体験ハウスに関する事業検証 		計画額	1,000	0	400	3,600	5,000		
			当初予算額	0	0	345	1,374	1,719		
			決算額							
H29	「移住体験ハウス」の運営を行うとともに、香川県移住交流推進協議会への参加等とおして移住交流施策の推進を図る。		計画額	0	0	400	3,600	4,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	「移住体験ハウス」の運営を行うとともに、香川県移住交流推進協議会への参加等とおして移住交流施策の推進を図る。		計画額	0	0	400	3,600	4,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	香川県移住フェア参加回数	香川県が主催する移住フェアへのブース出展回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	2	計画値	2	計画値	2	計画値	2	
	さぬき暮らし体験ツアー開催回数	さぬき市が主催する移住体験ツアーの開催回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	1	計画値	1	計画値	2	計画値	2	
成果指標	さぬき市への移住者数	転入届出者に対する窓口アンケートにおいて「香川県外からの移住」と回答した世帯の世帯員数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	100	計画値	100	計画値	150	計画値	150	
	さぬき暮らし体験ツアー参加者数	さぬき市が主催する移住体験ツアーへの参加者数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値	10	計画値	10	計画値	15	計画値	15	
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						
理由	平成14年4月1日のさぬき市誕生後、13年を経過した本市の人口は50,300人(平成27年国勢調査速報値)となり、合併から約7,000人減少するなど著しい減少傾向にあって、地域社会を支える人材を確保することが喫緊の課題となっています。 このため、本市では香川県が主催する移住希望者を対象とした移住フェアや交流会に参加するだけでなく、平成25年度からは市独自で移住体験ツアー「さぬき暮らし体験ツアー」を開催するなど、積極的に移住促進策へ取り組んできました。 移住促進策が果たす人口減少抑止効果は限定的ではありますが、地域の活性化には欠かせない要素といえることから、切れ目のない取組の推進が不可欠であると考えています。						少子高齢化による人口減少が進行する本市において、市内への人の流れを取り戻すことは最重要課題となっている。 平成25年度から移住体験ツアーの開催、平成27年度から移住体験ハウスを開設するなど、積極的に移住促進策へ取り組んできたところだが、平成28年度からは、移住促進家賃等補助金、三世帯同居・近居支援金の2つの制度を創設し、県外、市外からのUターンを、子育て世代から熟年世代まで幅広く呼びかけ、人口の社会増を目指していく。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	定住促進事業②(定住支援関係)
-----	-----------------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	平成28年5月16日
-----	------------

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	7	(7) 定住促進対策
主要施策	②	② 定住支援の強化

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	事業概要 人口減少を食い止めるための対策として、転出者の抑制及び転入者の増加など定住促進に向けた取組を推進する。	人口減少局面にある本市において、活力ある持続可能な自治体であり続けるために不可欠な要素である定住人口を確保するため、定住支援の強化を目指す事業である。	計画額	0	0	0	100,458	100,458	—	—
			当初予算額	4,500	0	0	60,545	65,045		
			決算額	0	0	0	19,933	19,933		
H27	定住奨励金(391件、11,753千円) 結婚定住奨励事業(76組、7,600千円) 広報事業(5件、情報誌②・駅構内広告・CATV・市広報)	定住支援施策の効果測定を行い、既存事業の継続を決定するとともに、子育て中の世帯や県外在住世帯を積極的に本市へ呼び込むため、新たに三世帯同居・近居支援金、移住促進家賃等補助金の両制度を創設した。	計画額	0	0	0	25,458	25,458	0.4	0.1
			当初予算額	0	0	0	25,458	25,458		
			決算額	0	0	0	19,933	19,933		
H28	具体的取組 定住奨励金(500件、16,500千円) 結婚定住奨励事業(80組、8,000千円) 三世帯同居・近居支援金(30組、3,000千円) 移住促進家賃等補助金(30組、9,000千円) 広報事業(5件、情報誌②・駅構内広告・CATV・市広報) 新規広報事例の検討		計画額	0	0	0	25,000	25,000		
			当初予算額	4,500	0	0	35,087	39,587		
			決算額							
H29	定住促進策の制度周知及び交付事務を実施するとともに、その政策効果を検証する。		計画額	0	0	0	25,000	25,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	定住促進策の制度周知及び交付事務を実施するとともに、その政策効果を検証する。		計画額	0	0	0	25,000	25,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	定住支援施策の広報件数	本市定住促進施策の広報実績。(例 情報誌掲載、駅構内広告掲示など)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 5	実績値 5	計画値 5	実績値	計画値 6	実績値	計画値 6	実績値	
	三世同居・近居支援金に関する交付相談件数	さぬき市三世同居・近居支援金に関する窓口相談・問い合わせ件数。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 0	実績値 0	計画値 10	実績値	計画値 20	実績値	計画値 30	実績値	
成果指標	結婚定住奨励事業における効果測定に関する設問への肯定回答数	交付者を対象とする事業効果測定アンケートにおける設問(定住促進を後押しする制度だと思いますか。)に「はい」と回答した数。(交付計画値の8割を想定。)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	組	計画値 48	実績値 68	計画値 52	実績値	計画値 56	実績値	計画値 60	実績値	
	三世同居・近居支援金の交付数	さぬき市三世同居・近居支援金交付要綱に基づく交付数。(交付対象者は、親との三世同居又は近居を目的として本市へ転入した子育て世帯。)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略	組	計画値 0	実績値 0	計画値 5	実績値	計画値 10	実績値	計画値 15	実績値	
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5点	21点 /25点	5点	21点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5点		5点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5点		5点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						● 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	平成14年4月1日のさぬき市誕生後、13年を経過した本市の人口は50,300人(平成27年国勢調査速報値)となり、合併から約7,000人減少するなど著しい減少傾向にあって、地域社会を支える人材を確保することが喫緊の課題となっています。このため、本市では平成23年度から開始した定住奨励金事業を皮切りに、結婚定住奨励事業や三世同居・近居支援金など各種ソフト事業を中心とした施策を実施し、その結果として人口減少の度合いが若干鈍化するなど一定の事業効果が確認されています。しかしながら、国などによる人口予測では今後も本市人口は減少すると見込まれていることから、市民の生活満足度を維持・向上していくためにも、転出者を抑制するとともに転入者の増加を目指すという、定住促進に向けた切れ目のない取組の推進が不可欠であると考えています。						少子高齢化による人口減少が進行する本市において、将来子育てをする若い世代の市外への流出を食い止め、市内への人の流れを取り戻すことが最重要課題となっている。平成23年度から定住促進奨励金制度、平成25年度から結婚定住奨励金制度を創設するなど、定住促進施策を進めてきたところだが、平成28年度からは、移住促進家賃等補助金、三世同居・近居支援金の2つの制度を創設し、県外、市外からのUターンにも積極的に取り組むこととし、住宅リフォームや空き家活用などの施策とも組み合わせながら、定住促進のための切れ目のない支援に取り組んでいく。						

総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	地域おこし協力隊・集落支援員事業
-----	------------------

担当課	政策課
-----	-----

記入日	
-----	--

総合計画上の位置付け		
基本目標	I	I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち
基本施策	7	(7) 定住促進対策
主要施策	③	③まちの魅力発信と多様な交流活動の推進

会計	01	一般会計
款	10	総務費
項	05	総務管理費
目	30	企画費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源				
H27 H30	地域おこし協力隊:市内の特産品の情報発信及び志度地区・多和地区の活性化 集落支援員:過疎地域の集落巡回を行い、集落の状況と課題の整理及び空き家の有効利用及び移住・定住の促進	都会からの若者を受け入れて、柔軟な地域おこし施策による地域活性化と過疎集落の課題整理を行うことが目的の事業である。	計画額	0	0	288	59,516	59,804	—	—
			当初予算額	0	0	168	29,779	29,947		
			決算額	0	0	48	9,007	9,055		
H27	・地域おこし協力隊員及び集落支援員の活動支援 ・新たな地域おこし協力隊員の募集 ・集落支援員の活動項目の追加	地域おこし協力隊員:市内の特産品をマルシェやピザ焼き体験を通じ市内外へ情報発信した。また生産者の意識向上を図った。集落支援員:集落巡回から見えてきた課題に対する取組を新たな活動に加えた。	計画額	0	0	72	14,879	14,951	0.1	3.0
			当初予算額	0	0	72	14,879	14,951		
			決算額	0	0	48	9,007	9,055		
H28	・地域おこし協力隊員及び集落支援員の活動支援 ・新たな地域おこし協力隊員及び集落支援員の募集		計画額	0	0	72	14,879	14,951		
			当初予算額	0	0	96	14,900	14,996		
			決算額							
H29	・地域おこし協力隊員及び集落支援員の活動支援		計画額	0	0	72	14,879	14,951		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・地域おこし協力隊員及び集落支援員の活動支援		計画額	0	0	72	14,879	14,951		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・ 総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
					計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
活動指標	活動報告掲載回数(広報紙)	隊員及び支援員の活動報告の広報掲載回数(広報さぬぎ)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	12	計画値	12	計画値	12	計画値	12	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	12	実績値		実績値		実績値		
成果指標	移住者数	移住者数(志度・多和地区に限定することが理想だが、データがないため、市全体の移住者数とする。)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	50	計画値	60	計画値	70	計画値	80	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	65	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4点	18点 /25点	4点	18点 /25点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	4点		4点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4点		4点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	3点		3点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	3点		3点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	更なる本事業の醸成のため、平成28年7月末をもって3年間の任期終了となる現隊員と支援員に続き、第2期生の募集を行う必要がある。新たな隊員及び支援員は、テーマを絞った活動内容とすることで、市の目的を明確にし、活動自体をより充実したものとすることが重要である。						制度導入から3年が経過し、現隊員と支援員の任期満了を迎えることから、28年度募集に際し、活動内容等の見直しを行うこととしている。 地域おこし協力隊員については、全国的な需要増に伴い、人材の確保が難しくなっていることから、活動テーマを「多和地区活性化」と「源内の改革プロジェクト推進」の2つに絞り、地域密着型の取組を推進することにより、外部人材の円滑な導入と活動の定着を図ることとする。 集落支援員については、従来の集落支援活動に、移住コーディネーターとしての役割を加え、空き家の活用や移住・定住の促進等を絡めながら、地方創生時代にふさわしい地域づくりに取り組むこととする。						